

年次報告書2022



特定非営利活動法人
自立生活センターSTEPえどがわ



01 ごあいさつ 3

02 2022年事業報告

① 自立支援事業

- 1) ピア・カウンセリング 4
- 2) 自立生活プログラム (ILP) 5
 - ★彩花さんの体験談「STEPでのILPを振り返って」..... 6
- 3) 自立生活体験ルーム「Yattemi ~ Na!」 9
- 4) よろず相談 (なんでも電話相談・個別相談) 10
 - ★さっちゃんの、地域移行バンザイ! 11
- 5) 自費による介助派遣 13

② 権利擁護・普及啓発

- 1) 情報保障 14
- 2) イベント
 - 1. STEPの防災に関する取り組み 15
 - 2. 映画上映「あい」～精神障害と向き合って～&トークショー 19
 - 3. バリアフリー演劇「ヘレンケラー」 20

3) 普及啓発	
1. ヘルパー ^{けんしゅうかい} 研修会	21
2. ナクセイバー ^{かつどうほうこく} 活動報告	22
4) 広報活動 ^{こうほうかつどう} の報告 ^{ほうこく}	24
5) 外部協力 ^{がいぶきょうりょく}	25
1. バリアフリー ^{たいけんぎ} なアウトドア体験記	31
2. 当事者 ^{とうじしやさんかく} 参画	33
a) バリアフリー ^{しょうがいとうじしや} 障害当事者 ^{ようせいけんしゅう} リーダ ^{こうつう} -養成研修 ^{けんしゅう} と交通 ^{こうつう} サポ ^{サポート} ートマネ ^{マネージャ} ージャー ^{けんしゅう} 研修	34
b) 東京都 ^{とうきょうと} 相談 ^{そうだん} 支援 ^{しえん} 従事者 ^{じゅうじしや} 研修 ^{けんしゅう} 検討 ^{けんとう} 会 ^{かい} と障害者 ^{しょうがいしや} ピアサポ ^{ピアサポート} ート ^{けんしゅう} 研修	35
3. 国際協力 ^{こくさいきょうりょく}	37
a) ジュネーブ	37
b) パラグアイ	44
c) ベトナム	46

③ 障害福祉^{しょうがい ふくし}・介護^{かいご}保険^{ほけん}

1) 利用者 ^{りようしや} 数 ^{すう} ・ヘルパー ^{ヘルパー} 登録 ^{とうろく} 数 ^{すう} ・派遣 ^{はけん} 時間 ^{じかん} 数 ^{すう}	49
2) 利用者 ^{りようしや} さん紹介 ^{しょうかい}	52
1. 嶺井 ^{みねい} 一志 ^{かずし} さん	
3) ヘルパー ^{ヘルパー} さんたちの遊び場 ^{あそびば}	54
1. 池戸 ^{いけど} 夏海 ^{なつみ} さん	

④ 養成研修^{ようせい けんしゅう}

03 その他^た

1) 新入社員 ^{しんにゅうしやいんしょうかい} 紹介	56
2) 2022 会計 ^{かいけい} 報告 ^{ほうこく} ・2022 活動 ^{かつどう} 報告 ^{ほうこく} ・2023 活動 ^{かつどう} 方針 ^{ほうしん}	59
3) 会員 ^{かいいん} 制度 ^{せいど} 「ダンサなくし隊 ^{たい} 」の紹介 ^{しょうかい} 「隊員 ^{たいいん} 募集 ^{ぼしゅう} ！」	67

01 ごあいさつ



ダンサナクセイバー・ムジ

やあ！ダンサナクセイバームジだよ！！

2022年度のSTEPえどがわはコロナ禍でやりたくてもやれなかった事をやっと少しずつ出来るようになってきた感じだったね！一番の思い出は、劇団集団風の皆さんとの共演かなあ？！スポットライト浴びて、久々の舞台を披露できて楽しかったあ！（詳細は20ページにあるよ！）

これからどんどんSTEPえどがわの活動が活発になり、絶対に誰もが住みやすい社会の実現が出来る！！そんな期待が持てる一年となりました。みんなで一丸となり、インクルーシブな社会の実現に向けて頑張りましょう！



02 2022年事業報告



① 自立支援事業

き ひるかわりようこ
(記: 蛭川涼子)

1) ピア・カウンセリング講座

じぶん きも む あ じかん なかま きも つう あ じかん
自分の気持ちに向き合う時間、仲間を気持ちを通じ合う時間

◎ピアカン・ビギナーズ (2022年10月)

にちじっし さんかしゃ めい めい
26日実施: 参加者8名うちスタッフ 3名)

コロナ禍でも他の自立生活センターでは、工夫を重ねながら、オンラインによる講座が開催されていましたが、STEPは2019年以降、なかなか開催に踏み出せずにいました。ですが、その間に、区内在住の当事者から「ピア・カウンセリングに関心がある。」という問い合わせを何件か受けることになりました。この人たちに少しでもピアカンの良さを伝えたいと思っていたところ、ダスキンのアジア太平洋障害者リーダー派遣事業で日本に来ていたインドネシア人のマウディタ・ゾブリタニア(愛称ゾー)さんがSTEPで研修を受けることになり、彼女にもピアカンの体験をして行ってほしいと思い、3年ぶりの「ビギナーズ」を開催しました。久しぶりの講座でしたが、思った以上にリラックスして進めることができ、

やっぱりもっと多くの人に知ってもらいたいな、と思えました。これから、開催の頻度を戻して行きたいと思っています。

関心のある方、お手伝いして下さる方、ぜひご連絡ください。



すいようど
水曜Doでしよう!?とは
障害のある人が地域の中で楽しめる企画を自ら考え、実行していく活動グループです。
例えば陶芸、料理、語り合い等誰かにやらされるのではなく、自分がやりたいことをやる!をモットーに、無理のないペースでゆるゆると活動しています。

障害種別、性別、年齢は一切関係なし!
やる気さえあればどんな人でも参加OKです。
手伝ってくれるスタッフも募集中です★



お問合せ先: NPO法人自立生活センターSTEPえどがわ
〒東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

◎「水曜Doでしょう!?(水Do)の開始

自立生活の「いろいろ」を伝えていくのは、簡単ではありません。「一人暮らしがしたい」と思っている、1度や2度話を聞いて、淡い願望を抱いたくらいの人達にはなかなか伝わりません(そりゃそうだ)。

また、すでに一人暮らしをしていますが、孤独を感じては意味がありません。自立生活において大切な「生活の楽しみ(遊び)」も、障害があると、自分で探すのが苦手な人も少なくないです。この数年の個別相談を経て関係を作ってきた人たちも増え、楽しみ探しまで1対1対応するのは何かもつたない(というか限界があり...)という思

いも湧き上がっていました。誰かの「これやりたい」に、みんなで乗かって、集まってきた人同士でたわいもない情報交換して、回を重ねるうちに、お互いがお互いをエンパワメントする関係性を築ければ、自立生活へつながる気持ちも引き出せないかな…。ゆる～いピアサポート活動の模索をはじめることになりました。ILPのフィールドトリップ的な「遊ぶ」とピア坎的な「学ぶ」を織り交ぜながら「水曜日にDO(どう)する?!」と考えるピアサポートです。「水DO(すいドゥー)」と読んでください。「来月の水DO何するの?」と聞いてもらえるような、居場所活動を目指します。

2)自立生活プログラム(ILP):一人暮らしに必要な知識と経験の場の提供

2022年度は、一人暮らしを実現させてILP卒業となった人を1名出せたことは、STEPにとっても大きな経験でした。昨年に続いてILPを継続した人、新たにILPを開始した人、年間を通して5名の方とILPを行いました。

<2022年4月～2023年3月までの実績>

	実施回数
一人暮らしに向けた準備(居住地の選定、サービス申請の書類作りのサポートなど)	月1～4回 合計19回(4/1、8、11、13、15、5/6、20、6/3、17、24、7/1、22、8/5、9/9、30、10/28、11/11,18) 【卒業】
一人暮らしを継続するために必要なサポート	月1～3回 合計9回(4/6、20、4/27、5/10、6/1、15、22、7/6、13)【終了】

ひとりく けいぞく ひつよう ・一人暮らしを継続するために必要なサポート	つき かい ごうけい かい 月1～4回 合計12回(4/25、5/30、 6/1、8、15、22、8/13、8/31、9/7、 14、10/5、12)【水Doへ移行】
ひとりく づく たいけん ・一人暮らしのイメージ作りをするための体験 りよう じゅんび ふ かえ ルーム利用の準備と振り返り	つき かい ごうけい かい 月1～2回 合計8回(4/6、28、6/7、 16、7/25、26、10/6、3/14)【継続】
つか かた せいど ・ヘルパーの使い方、ヘルパー制度について	ごうけい かい 合計7回(12/26、1/5、25、3/22、24、 29/31)【継続】

そつぎょう しゅうりょう ちが もくひょう たっせい しゅうりょう たっせい ひと そつぎょう もくひょう
卒業と終了の違いは、目標を達成して終了したかどうかで、達成した人は【卒業】、目標
へんこう はんだん あいえるびー ちゅうし ひと しゅうりょう
を変更したほうがよいと判断してILPを中止した人は【終了】にしました。

ひとりく けいぞく ざんねん あいえるびー たいおう むずか ほか
一人暮らしを継続するためのサポートは、残念ながら、ILPだけでは対応が難しく、他の
りよう すす だいじ まな ねん
サービスを利用することも勧めることも大事なということを学んだ1年でした。

あやか たいけんだん すてっぶ あいえるびー ふ かえ き ふるやまあやか
★彩花さんの体験談「STEPでのILPを振り返って」(記:古山彩花)



わたし すてっぶ ねん あいえるびー
私はSTEPで2018年からILP
じりつせいかつ う
(自立生活プログラム)を受けていました。
すてっぶ し つな
STEPを知ったきっかけは、もともと繋が
りがあったC I L昭島に勤めている友人に、
しーあいえるあきしま つと ゆうじん
「何から始めたらいいかわからないけど、
ひとりく
とりあえず、一人暮らしをしたい」という
き も う あ こと ほんとう こわ
気持ちを打ち明けた事でした。本当に怖か
ったけど、がんば ippō だ ほんとう
良かったと思っています。

とうじ わたし しーあいえる
当時の私は、かろうじて「C I L」とい
う場所の存在だけは知っていたものの、そ
こがどういう場所なのか、どういう流れで
じりつ まった し
自立までつながっていくのかは全く知り
ませんでした。でも、ここに来れば何かが変わ

わるのではないかと思ひ、ILPを受ける
ことを決めました。

一年目、今振り返れば無謀な行動だった
と思ひますが、実家でかなり健康者

感覚で育てられてきたという自信と、ヘル
パー時間数も足りないという公的な事情も

相まって、ヘルパーもつけずにSTEPに通
ってました。それに加えて、STEPの

事務所でも、人見知りと、無償で普通の
仕事である介助をしていただくことへの申

し訳なさから、トイレ介助も頼めず、そのこ
とを伝える事ができませんでした。心身と

もに負担をかけている事に自分では気が
ついてはいたけど、どうしていいかわかり

ませんでした。結局そのままプログラムは
すすみ、たった4回目で、ひと月後の国立市

での集団ILPの参加を決め、何が何だ
かわからない状態で半年通いました。

正直、体も心も極限状態で、あきらめ
ようかと思ったりもしました。一緒に受け

た人たちがすでに、かなり自立生活のこと
をわかっているような印象だったので、

私だけ一人、取り残されているような
感覚もあってつらかったです。

何度も壁にぶつかりながら1年頑張って
きたので、その成果を試してみたくなり、

体験ルームに宿泊してみました。それまで
は自分の身体機能以外の自立度には一定

の自信はあったけど、体験ルームを通して、



たくさんの失敗をしました。自分でイメージ
していた「自分」のイメージ・想像していた
ひとりぐらしのイメージと、現実があまりに
もかけ離れている事を実感して、かなりシ
ョックで落ち込みました。燃え尽き症候群
のような状態になって、自分は無理のでき
ない身体なんだと痛感しました。STEPに
かよつづけることも迷うくらい追いこまれま
したが、日常生活に戻ると日常生活のほ
うがつかなくて、そこを原動力に頑張ってい
たことだけは、4年半変わりませんでした。

ねんめ とつにゆう じかん
2年目に突入して、ゆっくり時間をかけ
て燃え尽き症候群から回復していきました。

なか ほんかくてき
そんな中でピアカンを本格的にはじめ、
じぶん かんじょう ところ なか む あ
自分の感情やら心の中とたくさん向き合
いました。その中で、【やっぱり自分は、
ほんき ひとりぐ めざ
本気で一人暮らしを目指したいんだな！】
という思いを再認識して、そこから1つギ
アを入れ替えて頑張りました。

さいしょ すてっぶ ちか せいかつ
最初は、「STEPの近くで生活したい」と
いう思いが強くて、江戸川区で家を探して
いました。うまくいったりうまくいかなか
たりしたけど、さまざまな経験を通じて
じっかん じかんかいじょ かんてん かんが
実感した『24時間介助』という観点から考
えると、江戸川区に住むことは難しい事を
かん なつとく つぎ すず き
感じ、納得して次に進むことを決めました。

つぎ てんきよさき かんが はたら
次に転居先として考えたのは、働いて
いた作業所のある杉並区。『一人暮らしを
したら、きちんと働いて生活費を得て、生
きていく必要がある』という思いがあった
ので、杉並区に決めました。

しかしながら、『さあ、ここからまた一段と
きあ い がんばるとき
気合い入れて頑張ろう！』という時に、コロ
ナ禍になってしまいました。仕事に行く事
も、友達に会う事も、STEPに行く事もでき
ず、とても落ちこみました。この頃から実家
にいる事へのストレスも増幅して、『もう
ひとりぐ かんが
一人暮らしできないのではないかと考
える事も増えていきました。そんな極限
じょうきよう つた はなし
状況を伝えてみたら、オンラインで話を

さいかい
してくれて、オンラインでプログラムを再開
する事になりました。オンラインでたくさん
はなし こと じぶん
話をしたり、オンラインで自分のマニユア
ルを作ったりしました。コロナの様子を見
ながら杉並区に通って、行政と交渉したり
つく ようす み
アパートを探したりしました。ところ
が全部うまくいかず、激しく落ちこみました。

この頃、自分に発達障害があるのではな
いかと考えるようになりました。それを
かんが
主治医に相談したら、「脳性まひの人の
しゅじい そうだん のうせい ひと
特徴の1つ」と言われて、腑に落ちました。
とくちょう い ふ お
コロナ禍は苦しい事も多かったけど、自分
の障害の理解が深まったり、感情整理が
しょうがい りかい ぶんか かんじょうせいり
きちんとできたので、今は、必要な時間だ
つたとおもっています。

さいしゅうてき ほうこうせい さだ
最終的に方向性を定められたのは、
ねん がつ しごと かんが
2022年4月。仕事しか考えていなかった
わたし いまむら
私に、今村さんが、『プライベートでやりた
い事はないの？』って聞かれた事がきっか
けでした。その瞬間、雷が落ちたような
しょうげき う いっき
衝撃を受けて、そこから一気に、『ハンドサ
ツカー』を生活の中心に置いて、大切な
ゆうじん ちいき てんきよ こと
友人がたくさんいる地域に転居すること事
に舵を切る事に決めました。

ここまでもあつという間でしたが、
さいしゅうてき ちいき き ひ こ
最終的に地域を決めてから引っ越しまで
ほんとう ま す
は本当にあつという間に過ぎていきました。
さいご すうかげつ すてっぶ てんきよさき しーあいえる
最後の数ヶ月は、STEPも転居先のC I L
きょうりよく かんしや
協力していただき、とても感謝しています。

じりつ いま ひびいろいろ なや
自立した今、日々色々あって悩みながらも、
ほんとう じゅうじつ す
本当に充実して過ごしています。みなさんの
きょうりよく わたし いま せいかつ
協力なくして、私に、今の生活はありませ

ん。ほんとうにありがとうございます。今後と
もどうぞよろしくお願いします。



じりつせいかつたいけん やって み な 3)自立生活体験ルーム「Yattemi~Na!」(やってみ~な)

やってみ な じりつ
Yattemi-Na(やってみ~な)は、自立
せいかつ めざ しょうがいしゃ ちいきない
生活を目指す障害者が、地域内にあるマン
ションにて、実生活体験をすることのでき
る場所です。部屋には電動ベッドやトイレ・
よくしつよう ほか せんたくき
浴室用のリフトの他、ミニキッチンや洗濯機
せっち あいえるびー とお
も設置されています。ILPを通して、
じぶん ひつよう かいじょないよう かくにん じっさい
自分に必要な介助内容を確認したり、実際
ふくしき きつか ふだん かぞく しせつ
に福祉機器を使ったり、普段は家族や施設
しよくいん まか かじ けいけん
職員に任せがちな家事の経験もできます。

あいえるびーもくてき りようちゅう
また、ILP目的だけでなく、利用中の
せいかつかいご にゅうよく つか
生活介護で入浴サービスが使えなくなっ
たため、この機会にリフトを使った入浴を
ため たいざい
試したいという利用や、精神科病院の
たいいん よぎ ほんたつしょうがい かた
退院を余儀なくされた発達障害の方の
ちいきいこうまえ たいざい
地域移行前のワンストップ滞在としての
りよう
利用もありました。(IL利用とは区別する
ため、【 】内に記載しました)

ねん がつ ねん がつ りようじっせき
 <2022年4月～2023年3月までの利用実績>

じりつせいかつ りよう めい かい へいきんりようにつすう か
 ・自立生活のための利用 2名(1回の平均利用日数3日)

	が 4月	が 5月	が 6月	が 7月	が 8月	が 9月
りようにんずう 利用人数	2【1】	1	1	2	0	0
りようにつすう 利用日数	5【5】	2	3	4	0	0
	が 10月	が 11月	が 12月	が 1月	が 2月	が 3月
りようにんずう 利用人数	1【1】	0	0	0	0	0
りようにつすう 利用日数	2【7】	0	0	0	0	0

そうだん でんわ そうだん こべつ そうだん
 4) よろず相談(なんでも電話相談)・個別相談

すてっぷ しょうがい そうだん
 STEPえどがわは、障害にまつわる相談
 なら、どんな相談でもまず聞きます。障害
 当事者スタッフも介助コーディネータース
 タッフも関係なく、対応します。
 おお そうだん たんじゆん といあわせ ぶく
 多くのよろず相談は、単純な問合せも含
 め、その場で終わることも多いですが、

ぐたいてき ひつよう はんだん
 具体的なサポートが必要ではないかと判断
 されたときは、個別に時間を取って対応を
 しています。それは、個別ILPに発展した
 り、STEPの権利擁護活動に発展したりし
 ています。

そうだん こべつ そうだん めんだんたいおう じっせき ねん がつ ねん がつ
 よろず相談から個別相談(面談対応)した実績<2022年4月～2023年3月>

そうだんしゃ 相談者	そうだんないよう たいおうかいすう 相談内容(対応回数)
じよせい だい したいふじゆう 女性 60代 肢体不自由	ひとりぐ おや はんたい ふ だ 一人暮らしをしたいが親の反対があつて踏み出せ ない(1回)
じよせい だい したいふじゆう 女性 60代 肢体不自由	さいもんだい かい 65歳問題について(3回)
じよせい だい したいふじゆう ほったつしょうがい 女性 20代 肢体不自由・発達障害	しごと や ひとりぐ かい 仕事を辞めたい、一人暮らしがしたい(1回)
じよせい だい したいふじゆう 女性 50代 肢体不自由	しきゆうけつていじかん ふ かい 支給決定時間を増やしたい(2回)
じよせい だい ほったつしょうがい 女性 20代 発達障害	ぎゃくたい いま せいかつ 虐待されている。今の生活をなんとかしたい(3 回)
じよせい だい ちようかくしょうがい 女性 30代 聴覚障害	しよくば じようほうほしよう 職場での情報保障について

じょせい 女性 20代	だい 聴覚障害 ちようかくしやうがい	かね 管理の仕方が知りたい かんり しかた し
じょせい 女性 40代	だい 聴覚障害 ちようかくしやうがい	せいど 制度について知りたい せいど し

★さっちゃんの、地域移行バンザイ！(記:曾田夏記)

さくねんど ねんじほうこく か
 昨年度の年次報告でも書いた、さっちゃん
 せいしんしやうがいとうじしや びやういん しせつ
 ん(精神障害当事者、病院・施設からの
 ちいきいこう きぼう かげつ
 地域移行を希望)ですが、3ヶ月のグループ
 たいけん へ ねん がつ
 ホーム体験を経て、2022年6月より
 えどがわく ねんがん ひとりぐ
 江戸川区のアパートで念願の一人暮らしを
 はじめました。せんじつ ねりまく
 先日は、練馬区にある
 せいしんかびやうとう じゃま ちようきにゆういんちゆう
 精神科病棟にお邪魔し、長期入院中の
 かた びやうとう やく めい たいしやう じしん
 方・病棟スタッフ約20名を対象に、自身
 ちいきいこう はなし
 が地域移行をするまでのお話もしてくれ
 ました。ねんまえ しせつ で あ
 3年前、施設で出会ったときは、
 いっしやう お
 「わたしは一生ここで終わるのかな・・・」と
 ぜつぼう にゆういんちゆう かた
 絶望していたさっちゃんが、入院中の方
 む たいせつ
 たちに向けて、「あきらめないことが大切
 かた すがた こころ う
 です」と語りかける姿には、とても心を打
 たれました。こんねんど ほうこくしよ
 今年度の報告書では、さっちゃんに
 とつげき おこな
 突撃インタビューを行ってみましょ
 う～。

◎ひとり暮らしの楽しみ

な:ひとり暮らし、どうですか～？ すっか
 り食いしん坊キャラになってしまったね
 わらい
 (笑)?
 さ:食べたいときに、食べたいものを、食べ

ただけ食べてたら、10キロ太っちゃいま
 した(笑)

な:そうだね(笑)でも、あかつき(※さっ
 ちゃんがいた施設)にいた時は、自由にで
 きなかったもんね。

さ:そうそう。1日(外出が許可される時間
 が)2時間とか、ナイよね～。今もそんなの
 かなあ・・・。

な:ほんとだよ。今ひとり暮らしになって、
 一番たのしいのは・・・

さ:食べてる時かな。(就労移行支援
 じぎやうしよ まいにち ひる べんとう で えら
 事業所で)毎日お昼はお弁当が出て、選ぶ
 のも楽しみ。

な:さっちゃんは、いつも何を選んでもの？

さ:ハンバーグ(笑)なんか、魚は嫌いにな
 っちゃって。あかつきで、毎日1食は必
 ず魚が出てきたんだよね。それで、なんか
 苦手になっちゃった。

◎精神科病棟にいる仲間のこと

な:この前、病院で話してもらった時、辛い
 入院・施設での生活を経験してきたさっ
 ちゃんにしかできないことがたくさんあるな

あ…と^{かん}感じたよ。やってみて、どうでした
～？

さ:地域^{ちいき}から病院^{びょういん}に戻^{もど}っちゃった人^{ひと}いたじ
ゃないですか？一^{いっ}か月^{げつ}で家^{いえ}を出^でて、病院^{びょういん}
もど戻^{もど}れって。あの人^{ひと}から、もう少^{すこ}し話^{はなし}を聞^き
てみた^{こころのこ}かったなあって、それだけ^{こころのこ}が心^{こころ}残り
かな。

な:そうだね。一人^{ひとり}ひとりと、もう少^{すこ}し深^{ふか}く
かか^{かか}われたらな^{かん}って感じ^{かん}だったよね。また、
きかい^{きかい}をつく^つって病棟^{びょうとうほうもん}訪問^{ほうもん}とかもして^もみた
い？？

さ:うん。一人^{ひとり}でも多^{おほ}くの^{ひと}人が、ちょっ^ちとで
も…なん^{きぼうも}か希望^{きぼう}持^もてるよ^{かか}うに^{かか}関わ^{かか}れたら
いいな。

な:そうだね、それは、さっちゃん^でだから出^で
き^き来^きること^きだよ^きね。

すてっぷ ^{ひとこと} ^{ねが}
◎STEPの^{ひとこと}みんなへ一言^{ねが}お願いします！

さ:おかげ^{ひとりぐ}さまで、一人^{ひとりぐ}暮らし^{ひとりぐ}することが^{ひとりぐ}
できました。いつも感謝^{かんしゃ}しています。これ^{かんしゃ}から
もよろしくお願^{ねが}いします！

な:一^{いっしょ}緒^たにピザ^た食^たべま^{わらい}しょう(笑)

さ:最^{さいご}後は^{さいご}やっぱり食^たべ物^{もの}の^{はなし}話^{もど}に戻^{もど}ったね
(^{わらい}笑)

しめん つごう おおはば
ということで、紙^{しめん}面^{つごう}の都^{おおはば}合^{おおはば}で大^{おおはば}幅^{おおはば}カッ^{おおはば}ッ^{おおはば}し
つつも、さっちゃん^{ざつだん}との雑^{ざつだん}談^{いちぶ}の^{いちぶ}一^{いちぶ}部^{いちぶ}を^{いちぶ}みな
さま^{とど}にお届^{とど}け^{とど}させ^{とど}て^{とど}いた^{とど}だ^{とど}き^{とど}ました。さっ
ちゃん^{ちいきいこう}の地^{ちいきいこう}域^{ちいきいこう}移^{ちいきいこう}行^{ちいきいこう}には、コ^{ちいきいこう}ー^{ちいきいこう}ディ^{ちいきいこう}ネ^{ちいきいこう}ー^{ちいきいこう}ター

いけがみともこ ^{かか}
の井^{いけがみともこ}家^{いけがみともこ}上^{いけがみともこ}智^{いけがみともこ}子^{いけがみともこ}さん^{いけがみともこ}にも^{いけがみともこ}関^{いけがみともこ}わ^{いけがみともこ}っ^{いけがみともこ}て^{いけがみともこ}ら^{いけがみともこ}い^{いけがみともこ}ま^{いけがみともこ}し^{いけがみともこ}
た。今^{いまむら}村^{そだ}&曾^{ふざいちゅう}田^{ともこ}コ^{ともこ}ン^{ともこ}ビ^{ともこ}の^{ともこ}不^{ともこ}在^{ともこ}中^{ともこ}、智^{ともこ}子^{ともこ}さん^{ともこ}
のフ^{すす}ォ^{すす}ロ^{すす}ー^{すす}な^{すす}し^{すす}に^{すす}は^{すす}進^{すす}ま^{すす}な^{すす}か^{すす}つ^{すす}た^{すす}さ^{すす}っ^{すす}ち^{すす}ゃ^{すす}
ん^{すす}の^{すす}地^{すす}域^{すす}移^{すす}行^{すす}。智^{すす}子^{すす}さん^{すす}か^{すす}ら^{すす}も^{すす}、ぜ^{すす}ひ^{すす}ひ^{すす}と^{すす}
こ^{すす}と^{すす}お^{すす}ね^{すす}が^{すす}い^{すす}し^{すす}ま^{すす}ー^{すす}す^{すす}！

ともこ
智^{ともこ}子^{ともこ}よ^{ともこ}り♡

あらた ^{ひとりぐ}
改^{あらた}め^{あらた}ま^{あらた}し^{あらた}て^{あらた}、さ^{あらた}っ^{あらた}ち^{あらた}ゃ^{あらた}ん^{あらた}一^{あらた}人^{あらた}暮^{あらた}ら^{あらた}し^{あらた}お^{あらた}め
で^{あらた}と^{あらた}う^{あらた}！

しせつ ^{さが}
施^{しせつ}設^{しせつ}か^{しせつ}ら^{しせつ}グ^{しせつ}ル^{しせつ}ー^{しせつ}プ^{しせつ}ホ^{しせつ}ー^{しせつ}ム^{しせつ}、ア^{しせつ}パ^{しせつ}ー^{しせつ}ト^{しせつ}を^{しせつ}探^{しせつ}

し^{とき}て^{ふあん}い^{ふあん}る^{ふあん}時^{ふあん}、不^{ふあん}安^{ふあん}だ^{ふあん}ら^{ふあん}け^{ふあん}だ^{ふあん}つ^{ふあん}た^{ふあん}さ^{ふあん}っ^{ふあん}ち^{ふあん}ゃ^{ふあん}ん^{ふあん}。

わたし ^{じぶん} ^{なに} ^{たよ} ^{ひと}
私^{わたし}も^{わたし}自^{じぶん}分^{ぶん}に^{なに}何^{たよ}が^{ひと}で^{ひと}き^{ひと}る^{ひと}の^{ひと}か^{ひと}？^{ひと}頼^{たよ}れ^{ひと}る^{ひと}人^{ひと}が^{ひと}

か^{かぎ}ぎ^{なか} ^{しょうじき} ^{ふあん} ^き ^も
限^{かぎ}ら^{なか}れ^{しょうじき}る^{ふあん}中^き、正^き直^も不^も安^もな^も気^も持^もち^もも^もあ^もつ^もた^もけ^も

れ^{いっしょ}ど^{こうどう}、一^{とも}緒^{とも}に^{とも}行^{とも}動^{とも}を^{とも}共^{とも}に^{とも}し^{とも}て^{とも}、さ^{とも}っ^{とも}ち^{とも}ゃ^{とも}ん^{とも}自^{とも}

しん ^{ひとりぐ} ^む ^{まえむ}
身^{しん}が^{ひとりぐ}一^む人^{まえむ}暮^{まえむ}ら^{まえむ}し^{まえむ}に^{まえむ}向^{まえむ}け^{まえむ}て^{まえむ}ど^{まえむ}ん^{まえむ}ど^{まえむ}ん^{まえむ}前^{まえむ}向^{まえむ}き^{まえむ}に^{まえむ}

なり^{えがお}笑^ふ顔^ふが^ふ増^ふえ^ふた^ふこ^ふと^ふが^ふと^ふて^ふも^ふ印^ふ象^ふに^ふ残^ふ

っ^{いま}て^{はんた}い^{とき}ま^{とき}す^{とき}。今^{いま}で^{はんた}は^{とき}ご^{とき}飯^{とき}食^{とき}べ^{とき}て^{とき}る^{とき}時^{とき}の^{とき}さ^{とき}っ

ち^{かお}ゃ^{いちばん}ん^{しあわ}の^み顔^みが^み一^み番^み幸^みせ^みそ^みう^みで^み、つ^みい^み見^みつ^みめ

ち^{わらい}ゃ^{わらい}う^{わらい}(^{わらい}笑)

また、^{せいしんびょうどう}精^{せいしんびょうどう}神^{せいしんびょうどう}病^{せいしんびょうどう}棟^{せいしんびょうどう}で^{せいしんびょうどう}の^{せいしんびょうどう}発^{せいしんびょうどう}表^{せいしんびょうどう}は^{せいしんびょうどう}「^{せいしんびょうどう}私^{せいしんびょうどう}と^{せいしんびょうどう}同^{せいしんびょうどう}じ^{せいしんびょうどう}

お^{おも}も^{おも}い^{おも}を^{おも}し^{おも}て^{おも}い^{おも}る^{おも}人^{おも}に^{おも}あ^{おも}き^{おも}ら^{おも}め^{おも}な^{おも}い^{おも}で^{おも}欲^{おも}しい^{おも}」

と^きい^もう^も気^も持^もち^もを^も伝^もえ^もたい^もと^も話^もし^もて^もく^もれ^もて^も、

は^{はっぴよう}っ^{すがた}び^みょう^{たの}を^{かん}見^{かん}て^{かん}頼^{かん}も^{かん}し^{かん}く^{かん}も^{かん}感^{かん}じ^{かん}ま^{かん}し^{かん}た^{かん}。

こ^{けいけん}れ^{いろ}か^{いろ}ら^{いろ}も^{いろ}、さ^{いろ}っ^{いろ}ち^{いろ}ゃ^{いろ}ん^{いろ}の^{いろ}経^{いろ}験^{いろ}を^{いろ}色^{いろ}ん^{いろ}な^{いろ}と^{いろ}

こ^{はっしん}こ^{てつだ}ら^{うれ}も^{うれ}、さ^{うれ}っ^{うれ}ち^{うれ}ゃ^{うれ}ん^{うれ}の^{うれ}地^{うれ}域^{うれ}移^{うれ}行^{うれ}に^{うれ}は^{うれ}、コ^{うれ}ー^{うれ}ディ^{うれ}ネ^{うれ}ー^{うれ}ター

しい^{うれ}です。こ^{うれ}れ^{うれ}か^{うれ}ら^{うれ}も^{うれ}よ^{うれ}ろ^{うれ}しく^{うれ}ね^{うれ}ー^{うれ}！



せいしんかびょうどう こうえん
 精神科病棟での講演のあと
 ろじょう わらい ひだり
 路上で(笑)。左から、なつき、
 さっちゃん、^{ともこ えがお}智子が笑顔で。



ひとりぐ かいし いわ
 さっちゃん一人暮らし開始お祝
 いランチ。ハンバーグを^{いまむら}今村さ
 んが^{ちそう}ご馳走してくれました！
 ひだり ^{いまむら} ともこ
 左から今村、なつき、智子、
 はんたいがわ ^{ながお}
 反対側にさっちゃん、長尾さん
^{いまむら かいじよしゃ}
 (今村さん介助者)

5) ^{じ ひ}自費による^{かいじよはけん}介助派遣

^{すてっぷ}STEPえどがわでは、^{じゅうぶん}十分な^{しきゅうけつてい}支給決定が
^{ふそく}されず不足する^{かいじよじかん}介助時間、^{しょうがいふくし}障害福祉サー
^{みと}ビスで認められていないけれども^{しょうがいしゃ}障害者
^{せいかつ}の生活にとって^{ひつようふかけつ}必要不可欠とされる^{こと}事柄
^{ひつよう}に必要な^{かいじよはけん}介助派遣について、^{じ ひ}自費による

^{かいじよはけん}介助派遣を^{おこな}行っています。また、^{ひとりぐ}一人暮らし
^{めざ}しを^{たいけん}目指して^{りよう}体験ルームを利用しながらへ
^{りよう}ルパー利用の^{たいけん}体験も^{おこな}行^{ひとむ}う人向けに、^{あいえる}IL
^{よう}用の^{はけん}派遣も^{おこな}行っています。

^{りよう} 利用した人数	^{めい} 14名(うち1名はIL対応)	^{はけんじかんすう} 派遣時間数	^{じかん} 856.5時間(うちIL対応は ^{じかん} 24時間)
-----------------------	------------------------------	---------------------------	--

② 権利擁護・普及啓発

1) 情報保障 (報告1~3:中曽根鈴音・報告4:井家上智子)

報告1 STEPでの情報保障について

2年ほど前に作り上げた、STEP独自の
※テイク登録のシステムは続けることが
出来ています。(※文字通訳のためだけに
雇用)

大学の講義などに行った際にテイク
募集のチラシを配るなどして、卒業したテ
イクさんもあるものの、10人程度の方に
登録いただいています。また、昨年頃から
導入したキャプションラインというWebベ
ース遠隔文字通訳システムが今では主流
となっており、STEPスタッフのほとんどが
使い方を習得することが出来ています。コ
ロナ禍が少しずつ落ち着いてきて、対面
の会議や来客対応が増えたことや、活動
の幅が広がり、外での仕事も多くなったこ
とでどのように情報保障をセッティングす
るかが課題になっているように感じます。

報告2 JIL聴覚PT & 情報保障チーム

3年前に立ち上げた聴覚障害者プロジ
ェクトチームは正式にJILのプロジェクトに
なり、勉強会や交流会の開催、初の対面
会議が叶ったりと活動の幅が広がりました。
また、JILの聴覚PTでやっている情報
保障チームは、全国のCILのスタッフが
文字通訳者、手話通訳者として登録してい

ただいており、主にJILでのプロジェクトの
会議や他のセンターのイベントの文字通訳、
手話通訳の派遣をしています。

報告3 鈴音の気持ち

それぞれで情報保障を支援してくれる
チームが出来たことで、私自身活動がしや
すくなりましたし、全ての会議の情報保障
をSTEPのスタッフにお願いすることがな
くなったので、気が楽になりました。ただ、
まだ、まわりの状況によっては遠慮してし
まう事があるので、必要なサポートは伝え
られるようにしていきたいです。テレワー
ク中心から事務所出勤が多くなり、急な
来客対応にも入ることができてきました。
その時は事務所にいるスタッフに頼ること
が多いのですが、すぐに対応してくれて
感謝しています。STEPが情報保障体制の
ロールモデルになり全国に広がればいな
と、広がっていかねければ、と思っております。

報告4 情報保障担当としての思い

聴覚障害者への情報保障を知ってもら
うため、最近の大学での講義では「自立
生活センターとは？」に繋げて障害によっ
てサポートは様々なこと、当事者である
鈴音から情報保障が必要なことも伝える

こと おお しんぽ かん
事ができたのはとても大きい進歩だと感じて
います。

チームを立ち上げて 2年。安定して入
っていただけるテイカーさんに加え、徐々に
スタッフも情報保証を会議やイベントの際
に、「日時」「場所」「バリアフリーか否か」に
くわ じょうほうほしやう かいぎ さい
加え、「情報保障はどうするか」が当たり前
に考えられること、皆が意識していること
はとても嬉しく思います。

わたしこじん じょうほうほしやう
私個人は情報保障チームにいながらテ
イクがうまくいかないことも多くもどかし
さもあり、自分にできることは何か？と
自分なりの方法を考えた際に、使い慣れ
ているスマホの端末を使って打つことで
おぎな まわ おな
補ってきました。周りにも同じようにパソ
コンが苦手で自分が出来ることを考えて
どうよう かか ころづよ
同様に関わってくれていることを心強く
かん
感じています。

わたし う こ おそ
私はパソコンで打ち込むのが遅いので

れんしゅう けっか
すが、練習をした結果パソコンテイクに
じょじょ な いま じる かんけい ちょうかく
徐々に慣れて、今ではJIL関係の聴覚
しょうがいしゃ かた さんかきぼう かいぎ すこ
障害者の方が参加希望の会議にも少しで
すが出られるようになってきました。

さいきん しょうがい て うご
最近では、障害ゆえの手がうまく動かせ
ないSTEP当事者が、手話のイラストを
かみしばい かいじょしゃ
紙芝居のようにして介助者にめくってもら
い、自分で出来るところは手話で表現しな
がら伝えていた出来事は、「STEPえどが
わ」で鈴音がみんなに伝えてきた結果なの
だと思ひます。

つな うご だ いま すずね
繋がりができて動き出している今、鈴音
ちゅうしん すてっぷ じょうほうほしやう
を中心にSTEPえどがわの情報保障をた
くさんの人に知ってもらい、聴覚障害者の
ひと あ まえ ちょうしゃ ひと けっか おな
人たちが当たり前に聴者の人たちと同じ
じょうほう え じょうほう えら
情報が得られ、その情報を選ぶことがで
き、時にはその場の雰囲気と一緒に笑った
りすることがもともとあたり前にでき
ること めざ
る事を目指していきたいです。

2) イベント

1. STEPの防災に関する取り組み(記:市川裕美)

こういきひなんくんれん ねん がつ にち
広域避難訓練(2022年6月25~26日)

ねん がつ はっかん えどがわく
2019年5月に発行された江戸川区
すいがい だいき ぼすいがい じ
水害ハザードマップでは大規模水害時、
こういきひなん くがい じぜんひなん すいしやう
広域避難(区外への事前避難)が推奨され
ているものの、日常的に介助が必要な人

たんどく ひなん ひなんさき せいかつ
にとっては単独での避難、避難先での生活
こんなん こと めいはく かいじょしゃ
が困難になる事が明白であり、また介助者
おお くみん こと どうよう ひなん
の多くも区民である事から同様に避難が
ひつよう かつぞく いっしょ しゅうだん
必要となるため、家族なども一緒に集団

こういきひなん こと で き よい
で広域避難する事が出来れば良いのでは
ないかと 考えました。

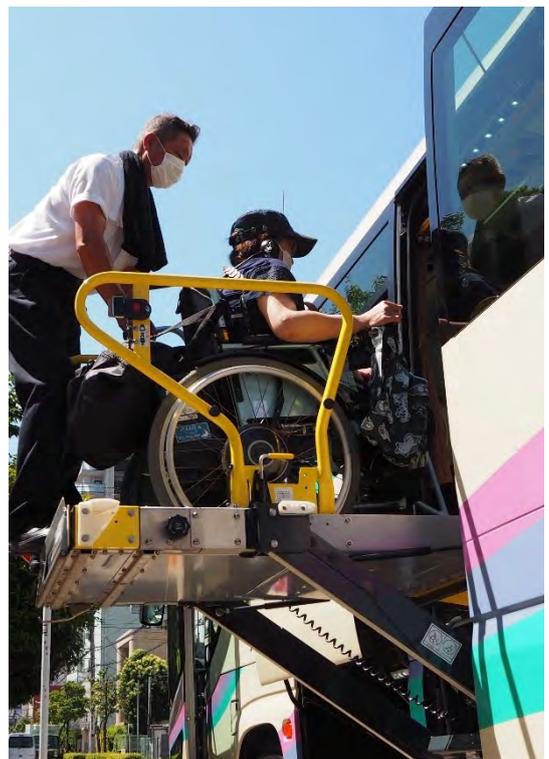
じっさい たいふうじょうりく ねん がつ
しかし、実際の台風上陸(2019年10月
たいふう ごう とき じぜん ひなん むずか
台風19号)の時、事前の避難の難しさを
たいけん こと ひなんくんれん きかく いた
体験した事から避難訓練を企画するに至り
ました。

えん やまなしけんほくとし きよさと きょうりよく
縁あって山梨県北杜市(清里)のご協力
をいただき、廃校となった清里小学校の
じっさい ひなんじょ げんじょう たいいくかん
実際の避難所は現状、体育館にブルーシ
ートのみななのでこの機会に参加者の方には
ひなん ひつよう もの かんが じぜん じゅんび
避難に必要な物を考え、事前に準備して
いただく良い機会になるのではないかと
おも
思いました。

は きかく さんか
果たしてこんな企画に参加して下さる
かた があるのか？ちょっと不安もありました
けっさく ところ めい どうじしゃ かいじょしゃ
が結局のところ 15名の当事者、介助者・
かぞくなど めい こ めい
家族等23名(うち子ども2名)、ボランティ
ア 3名、防災の専門家5名そして現地のボ
ランティア 11名にご参加いただきました。

さんかしゃ じぜん せつめいかい かいさい かくじ
参加者には事前に説明会を開催し、各自
で事前準備を進めてもらいました。また、
たん しゅうごう の
単に集合してバスに乗っていただけでは
なく、より臨場感を感じてもらうために
たいふう ごうはっせいじ あ いつ
台風19号発生時のタイムラインに合わせ5
かまえ たいふうはっせい だいきほすいがい
日前から台風発生→大規模水害になる
かのうせい すてっぷ きんきゅうじたいせんげんはつれい
可能性がある→STEP緊急事態宣言発令
かのうせい ひなんさき かくほ で き
の可能性あり→避難先の確保が出来た→
いっしょ ひなん ひと しゅうごう れんらく
一緒に避難する人は集合…といった連絡
おく じっさい ひなん じかん みじか
を送り、実際の避難までの時間の短さを

たいいくかん か えどがわく じよせいきん
体育館をお借りし江戸川区のバス助成金
などもいただいてリフト付きバスを 2台借
りて訓練を実施する事としました。体育館
に 1泊するという初めての経験、さすがに
いた ま わたし た き
板の間では私も耐えられない気がしたの
ふとん レンタルする事にして、備品の工
アベッドも持参、どうにもならない場合に
そな えてペンションも確保した状態。でも、
たいかん こと くんれん いちぶ
体感してもらう事も訓練の一部としました。



そして当日…事務所近くの集合場所に
次々と参加者が集まり、定刻通りの出発が
できたものの、久しぶりの晴れの週末とな
り、中央道が大渋滞。お昼休憩のはずの
S A 到着が大幅に遅れ、ゆっくり休憩
を取る時間もなく6時間ほどかけてどうに
か現地に到着しました。(本当にお疲れさ
までした)先に現地に向かったスタッフと現
地ボランティアとで体育館の設営を開始し
ていました。まもなく北杜市長もご挨拶に
来てくださり改めて開会の挨拶。そしてグ
ループごとに分かれて今回の避難訓練に
参加してみて感じた事など意見交換の場
を設けました。壁に貼った模造紙に付箋紙
で出た意見を書いて貼っていくのですが、
各グループとも隙間がないくらいにたくさ
んの意見が出て、それぞれに参加した意義
を感じている事が伝わって、企画・準備し
てきて本当に良かったと安堵しました。



それから事前に注文していたお弁当を
食べながら暫し歓談の時間。各自のスペ

ースに布団やテントを敷いたり、持参した
便利グッズのお試しをしたりという時間を
過ごしあつという間に消灯の時間に。



布団で体が痛くなるのでは？周囲が気
になって眠れるか？など不安の声がある
中、「案外よく眠れた」との感想が翌朝に聞
かれていた。軽く朝食を済ませ片付けを
して近くの清泉寮(牧場)へ観光もして
昼食を済ませたら、また大渋滞の中帰路
へ、あつという間の訓練が無事に終わりま
した。

参加した多くの方から「避難訓練を経験
したことで自信がついた」「事前準備ができ

よ さら じゅんび おも
て良かった(更に準備しようと思った)
しゅうだん じぶん かいじょしゃ ひと
「集団なので自分の介助者がいなくても人
て か よ ひなんさき ひなん
の手が借りられて良かった」「避難先・避難
あし かくほ こと よ
の足が確保されていた事が良かった」「バ
にもつ はこ よ かいじょしゃ
スで荷物が運べたので良かった」介助者か
らも「(普段より介助の手が必要になるが)
しゅうい ほか ひと て か よ
周囲から他の人の手が借りられて良かった」
など 概ね良い意見が多く聞かれました。
また実践してみる事で多くの気づきを得ら
れた事から今後も訓練を行ない、より多く
かた けいけん じっさい ひなん
の方に経験していただいて、実際の避難に
かんが きかい も ほ おも
ついて考える機会を持って欲しいと思い
ました。



くんれん えぬえいちけー あした
なお、この訓練はNHKの「明日をまも
ぼうさい ばんぐみ がつ にちほうえい
るナビ」という防災の番組で7月17日放映
ごえぬえいちけー にゅーす うえが
その後NHK NEWS WEBにもダイジ
けいさい
ェストが掲載されています。

[https://www3.nhk.or.jp/
news/special/
suigai/videos/8616/](https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/videos/8616/)



[https://www3.nhk.or.jp
/news/special/suigai/
articles/8688/](https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/articles/8688/)



し きんきょうりよく ◎資金協力

えどがわくだんたいじよせいきん じよせいきん
江戸川区団体助成金、バス助成金、
えぬびーおーほうじん かぜききん
NPO法人 ゆめ風基金、
えみんぼう えどがわ ぼうさい
EMINBO(江戸川みんなの防災プロジェク
ト)

とうきょうしんぶん 東京新聞

がつ か ちょうかんけいさい こういき
8月14日朝刊掲載 広域
ひなんくんれん
避難訓練



[https://www.tokyo-
np.co.jp/article/195773](https://www.tokyo-np.co.jp/article/195773)

あらかわりゅういきぼうさいじゅうみん 荒川流域防災住民ネットワーク

がつ にち
11月20日

ねん あらかわりゅういき じゅうみん
2021年より、荒川流域の住民でつく
だい きほすいがい む とも まな かつどう
る大規模水害に向けて共に学び活動する
しみんだんたい ねん ど かいさい
市民団体で年に1度のシンポジウムを開催
しています。2022年は午後の分科会で
こういきひなんくんれん ほっぴょう
広域避難訓練の発表をする。

にほんろうどうしゃきょうどうくみあい

日本労働者協同組合(ワーカーズコー

がついつか
プ)12月5日

しよくぼ がくしゅうかい こういきひなんくんれん ほうこく
職場の学習会で、広域避難訓練の報告
ぼうさい はなし
など防災について話をしました。

えいが せいしんしょうがい む あ じょうえいかいあんど き なかそねすずね
2. 映画「あい」～精神障害と向き合っ～上映会 & トークショー(記:中曽根鈴音)



まいとし こうれい えいが
毎年の恒例イベントとなってきた映画
じょうえいかい ねんど がつ にち
上映会を、2022年度は11月19日にオン
ラインで映画トークショーも含めて行いま
した。今回も 80人近くの方から申し込み
がありました。

じょうえい えいが せいしんしょうがい む あ
上映映画は「あい」～精神障害と向き合
っ～。この映画は日々の生活に生き難さ
かん せいしんしょうがいしや
を感じている精神障害者のありのままの
にちじょう とお かれ くる なが
日常を通して、彼の苦しみや長いトンネル
ぬ さき きぼう みいだ
を抜けた先にある「希望」を見出していく
すがた を知ってもらうことで、彼らが安心して
くらせる しゃかい じつげん せいしんしょうがい たい
暮らせる社会の実現と、精神障害に対する
ひとびと りかい ふか ねが せいさく
人々の理解を深めることを願って製作され
たものです。

でいーびーあい にほんかいぎ
トークショーゲストはD P I日本会議
じ む きょくいん さぎはら ゆか さぎはら
事務局員の鷺原由佳さん。鷺原さんは
がくせいじだい う い
学生時代にいじめを受けるなど、生きづら
ちやくめん だいがく ねんせい としき とうごうしつちようしやう
さに直面。大学3年生の時に統合失調症

せいしんか かいにゆういん
になり、精神科に3回入院されるなどの
けいけん ちゆうしん はなしただ
経験を中心にお話 頂きました。トークシ
ョーの最初には鷺原さんによる、精神障害
さいしょ さぎはら せいしんしょうがい
についての講義をして頂き、後半では
こうぎ いただ こうはん
STEPスタッフの井家上智子と鈴音、鷺原
さん、3人で「精神障害者に大切な繋がり
とは」をテーマにディスカッションをしまし
た。

さぎはら はなし なか せいしんしょうがいしや
鷺原さんのお話の中で、精神障害者は
せいしん せいしん
「チャレンジ精神」「ボランティア精神」のよ
うに、「精神」という言葉が「気持ち」「心」
いしき いみ こんどう つか
「意識」といった意味と混同して使われる
ばめん せいしん しょうがい き
場面があるために「精神の障害」≒「気の
もちよう ないめん おと ごと
持ちよう」「内面が劣っている」などと誤解
されがちであること、そのこともあり、
せいしんしょうがいしや ひょうめい
「精神障害者です」という表明は、まだま
だハードルが高いのが現状と、強くお話
たか げんじやう つよ はなし
されており、それは差別・偏見の根強さの

せいであることを改めて気付かされました。

また、私たちができる配慮や環境整備について質問したところ、職場にベッドが設置されており(環境整備)、いつでも休めるという「合理的配慮」が提供されていることが安心して繋がる、さらには、どんな状態でも私は私。SOSを出した時に、「ありのまま」を否定せず受けとめ、味方でいてくれる人との繋がりが大切だとお話しされていたのが半年以上たった今でも

印象に残っています。

このような機会に当事者の生の声を聞くことで、たくさんの学びがあり、社会のなかに、さらには自分の中に潜んでいる無意識な差別に気づけるきっかけにもなるのでこれからも続けていきたいなと思いました。今年度は「こころの通訳者たち」という映画を上映予定で、今回は久しぶりに対面で行う予定です。詳細が決まりましたらお送りいたしますのでみなさまのご参加をお待ちしております。

3. バリアフリー演劇「ヘレンケラー」上演会(記:中曽根鈴音)

コロナ禍が落ち着きつつあった、2022年1月18日にタワーホール船堀にて演劇集団風さんをお招きし、バリアフリー演劇「ヘレンケラー」を上演していただきました。この演劇会は文化庁の助成のもと、実現したものです。

そして、バリアフリー演劇とは、目が見えない人たちや耳が聞こえない人たちと一緒にみんなで楽しめるように、セリフなど音の情報を字幕で表示し、舞台美術や俳優の動き、表情などを音声ガイドで解説した演劇のことを言います。開演前にはバックステージツアーも行い、観客がバックステージの様子を見られたり、演者さんとも交流したりしながら、普段では体験できな

いような貴重な時間を過ごしました。演者の方が見に来ていた子供に、「気分が上がってきたらいつでも舞台上が上がってもいいぞ!」と声をかけていたりして、“バリアフリー演劇”は情報保障などがあるだけではなく、何が起きても大丈夫、本当にみんなが安心して楽しめる演劇だなあと感じました。客席にはSTEP関係者を中心に車いすユーザーや知的障害のある人、盲ろう者などたくさんの方が来られていました。固定椅子の前に設けたフリースペースは車いすユーザーの方で満員!バリアフリー演劇を鑑賞できる機会はあまり多くないからか、ここぞとばかりにみなさん来てくださいました。

ほんべん ほんとう じょうほう ほ
本編のヘレンケラーは、本当に情報保
しょう てっぺい おどろ てっぺい
障が徹底されていて驚きました。徹底さ
れているだけではなく、例えば字幕はセリ
うご どうじ うつ だ
フや動きと同時にスクリーンに映し出され
てまるで舞台装置の一部であるかのよう
ぶたいそうち いちぶ
でした。手話通訳は演者ととも動いて
しゅわつうやく えんじや うご
「演技」をしていました。もはや「情報保障」
えんぎ じょうほうほしやう
という言葉を感じさせないような、演劇の
ことば かん えんげき
中に自然と溶け込んでいてなんだか心地
なか しぜん と こ こ
よかったです。

ぜんざ すてっぷ
前座ではSTEPえどがわのマスコットキ

キャラクター、ダンサナクセイバーのショーを
やりました。演者のみなさんがバックダン
えんじや
サーでバリバリダンスに参加して下さり、
さんか
大盛り上がりでした。来年もバリアフリー
おおも あ らいねん
演劇会を行う予定で着々と準備中です。
えんげきかい おこな よてい ちゃくちゃく じゅんびちゆう
今回参加された方も、もう一度あの空間を
こんかいさんか かた いちど くのうかん
味わいたい！という方もぜひまた遊びに
あじ かわ かた あそ
来てください。詳細が決まりましたら
き しょうさい き
HPやフェイスブックなどでまたお知ら
ほーむぺーじ し
せいたします。



ふきゅうけいはつ 3) 普及啓発

1. ヘルパー研修会(記:布川 悠)

けんしゅうかい き ぬのかわ ゆう
ヘルパー研修会は、基本的には月に
いちど じかんでいど かいさい
一度、2時間程度で開催しております。
ちしき ぎじゆつ こうじやう まな くだん
知識や技術の向上を学び、また普段なか
かお かわ きかい
なか顔をあわせる機会のないヘルパー
どうし こうりゆう ば
同士の交流の場となっております。

れいわ ねんど でいーびーあいにはんかいぎ おこな
令和3年度は、D P I 日本会議が行っ
がいがけんしゅう もう こ かい
ている「外部研修」に申し込み、3回の
けんしゅうかい おこな でいーびーあい
研修会を行っていただきました。D P I
にはんかいぎ くに ぎやうせい たい ふくし
日本会議は、国などの行政に対し、福祉
せいど などしやうがいとうじしや せいかつ
制度やバリアフリー等障害当事者が生活

なか おお えいきょう ぶばん しょうがい
 する中で大きく影響する部分を、障害
 とうじしゃしてん ていげん おこな だんたい
 当事者視点から提言を行う団体です。そ
 だんたい ちゅうしんてき かつどう さとう
 の団体で中心的に活動しておられる佐藤
 さとし さいたかのり けんしゅうかい くに
 聡さんや崔榮繁さんの研修会は、国との
 こうしょう うらばなし き ふか
 交渉の裏話なども聞けてとても深みがあ
 り、改めて運動の大切さを感じさせられる
 ないよう でいびーあい みな
 内容でした。D P Iの皆さま、ありがとう
 ございました！

また、昨年度から少しずつスタッフの

がい ぶしゅつちよう ふ
 外部出張も増えてきました。スタッフの
 かいがい こくさいきょうりよく しょうがいしゃうんどう はなし
 海外での国際協力や障害者運動の話
 き げんち おも
 を聞けて、現地での思いなどもみんな
 きょうゆう よ じかん
 で共有できる良い時間となりました。
 こんねんど みなさま さんか ま
 今年度も皆様の参加をお待ちしてしま
 す！研修会で取り上げてほしいテーマな
 ど、リクエストもがしがし募集中です♡

ねん がつ ねん がつ じっしないう <2022年4月～2023年3月までの実施内容>		
かいさいび 開催日	テーマ	さんかしゃ 参加者
がつ にち 6月13日	せつぐう すてっぶ 接遇 STEPえどがわにとっての接遇は？を皆で考える	めい 16名
がつ にち 7月22日	しゅひぎむ もと 守秘義務 ロールプレイを基にグループワークを行う	めい 20名
がついつか 9月5日	でいびーあいがい ぶけんしゅう ちいきせいかつ さとうさとし D P I外部研修 「地域生活について」@佐藤聡さん	めい 17名
がつ にち 10月17日	でいびーあいがい ぶけんしゅう しょうがいしゃぎやくたいぼうしほう さいたかのり D P I外部研修 「障害者虐待防止法」@崔榮繁さん	めい 14名
がつ にち 10月24日	しゅつちようほうこくかい くだう そだ スイス・ジュネーブ出張報告会@工藤、曾田	めい 11名
がつ にち 11月21日	じ こたいおう ヒヤリハットと事故対応 ぐたいてき きんきゅうじ たいおう まな ねちゅうしゅう ひんけつ 具体的な緊急時の対応を学ぶ(熱中症、貧血など)	めい 12名
がつ にち 12月12日	でいびーあいがい ぶけんしゅう さとうさとし D P I外部研修 「バリアフリー」@佐藤聡さん	めい 17名
がつ にち 1月27日	しんねんいっぼつめ こうりゅうかい ことし ほうふ など フリートーク 新年一発目の交流会にて「今年の抱負」等をそ れぞれ発表！	めい 16名
がつ にち 2月17日	しょうがいしゃ じりつせいかつ しんりがくてきそくめん かんが そつぎょうろんぶん 「障害者と自立生活」を心理学的側面から考えた卒業論文 発表@ヘルパーの実藤美来さん	めい 22名
がつ にち 3月14日	あんど しゅつちようほうこく つちや たなかゆうき ほんしま パラグアイ & カンボジア出張報告@土屋、田中悠輝、原嶋	めい 17名

2. バリアフリー戦隊ダンサナクセイバー活動報告 絵本と出前授業(記:津田浩史)

ねん ねん ない なか
 2019年にダンサナクセイバーの中でナクセ
 ーSHOWをもっと地域に広めたく
 しよー ちいき
 YouTube映像以外にも広報活動できる

ほうほう えほんさくせい きかく た あ
 方法として絵本作成の企画を立ち上げまし
 た。
 えほん きほんてき ないよう ねんとうきょうと
 絵本の基本的の内容は2017年東京都

主催「心のバリアフリー」動画コンテスト
(東京都福祉保健局)

(↑このワードで検索かけると見られます、
それとSTEPのHP(ホームページ)にも掲載中)に
応募して奨励賞を受賞した作品を元に
制作をすすめ、江戸川区社会福祉協議会
「令和2年度歳末たすけあい運動」の
助成金を受けて2022年1月に絵本が
完成しました。

この絵本を使って地域への啓発活動を
どうしていくかを検討したところ江戸川区
のSDGsの活動に合わせることで色んな
ところと繋がりと考えると、江戸川区に
SDGsのロゴの使用申請し受諾され絵本
に江戸川区のSDGsのロゴを貼りました。

この絵本使い今村理事長が江戸川区の
教育委員会へ働きかけをし、江戸川区内
の小学校の校長会にて絵本の宣伝と配布
する機会をもうけられました。また絵本
配布に合わせてSTEP出前授業のチラシ
を同封して行いました。

その後絵本を配布した3つの学校から
出前授業の依頼がありました。

この出前授業ではナクセイバーSHOW
を通じてインクルーシブについて、車椅子使
ってスラローム体験、手話教室、学校にど
んなバリアがあるのか学校バリア探検、
当事者の質疑応答を行いました。

ナクセイバーSHOWではインクルーシブ
について分かりやすく、バリバリアンというダ
ンサや差別をエネルギーとしたキャラクタ

ーがバリダンス(差別ダンス)しながら現
れ、世の中の差別を広めようとするところ
をナクセイバーが食い止め生徒のみんなと
一緒に倒して喜んでもらい、車椅子スラロ
ーム体験では、指定されたコースからはみ
出ないで通りUターンして戻ってくるので
すが、乗り手側と押して側でどうすれば、は
み出さずコースを通れるか意見を出し合い
車椅子の操作に関心をもって取り組んでも
らい、何度もこの体験したいという生徒が
多かったです。

手話では、講師の鈴音さんが指文字と
手話の単語をいくつかと手話だけはないコ
ミュニケーション方があるというジェスチャ
ゲームで楽しんでもらい、授業が終わった
ら多くの生徒が手話を覚えてもらったり、
自分の名前を指文字でどうするのか尋ね
てきたり、当事者の質疑応答には質問に答
えられないくらい多くの生徒から質問があ
りました。

日常生活について家の中でも車椅子な
のか、お風呂はどうするのか、外出の移動
方法についてどうするのか、当事者が乗っ
ている車椅子について、とりわけ今村
理事長の車椅子の値段に驚いていまし
た。

出前授業を終えて生徒一人一人からの
感想カードをもらいとても有意義な授業
を行えた実感しました！

絵本をきっかけにこうした地域の学校と
繋がれたことで、障害を持っていても生活
していけることを伝えられることが少しで

もできたかなと思います。まだまだ、伝えたいことは山のようにあり、どんな重度な障害者の人でも生徒の皆さんと一緒にみんなで学校に通え、一緒に授業を受けられること、また同じく出前授業などを通して学校側も少しずつでも障害をもった人を

受け入れていけるように働きかけをしていきたいと思います。分け隔たることなく教育を受けられる社会を目指して！！

4) 広報活動の報告(記: 工藤登志子)

2022年度も、下記のツールを使って、個々の活動をSNSを使って報告させていただきました。

STEPえどがわ公式ホームページ: <https://www.step-edogawa.com/>



Facebook:

<https://www.facebook.com/CIL.STEP.Edogawa>



Twitter: Twitter内の検索にて「@stepedogawa」と検索



YouTube:

https://www.youtube.com/channel/UCnepu9vwQhZ_29Bn77VSiQw/videos

インスタ始動！！皆様フォローください！！

STEPえどがわにフレッシュな若者(オカリナちゃん & 原嶋君)が社員に加わり(56ページ参照)、STEPの平均年齢を下げることに貢献してくれました。彼らの影響で若返った気持ちの我々はこの機会を逃すまいと、若者たちをSTEPに取り込むための広報活動を始めることにしました。そうです、インスタ(Instagram)です。インスタといえば、おしゃれなお出かけスポットを探したい時や流行の髪型、ファッションを知りたい時にタグで検索して写真を眺めたり、友達の近況や有名人の私生活を垣間見る等、ちょっとした暇つぶしに使っている人も多いため、そんな、皆様の日ごろのちょっとした隙間時間の中にSTEPがお邪魔して「今

こんなことやってるよー」という情報をお届けできたと思っています。これまでもFacebook
やホームページ等を通して活動紹介はしていましたが、インスタではもっとフランクに、友達
感覚でこれまで見せてこなかったリアルなSTEPも魅せていきたいと思っています。そしてあ
わよくば「STEPってなんか面白そう、介助の仕事やってみたいな」と思ってくれる仲間が増
えると良いな(むしろこれが最大の目的です)。

とはいえ中のスタッフはSNS慣れしていない人たちなので、インスタのアカウントを開設し
てから初投稿までに1か月以上かかったのはここだけの話。「一発目の投稿はオシャレな映
え写真にしたい！」と担当者会議を開いたものの、自撮り慣れしていない私たちが撮ると、
なんとも言えない微妙な写真に…。そう考えると、映える角度や光加減を絶妙に操る現代
の若者たちってめっちゃすごいなあと、改めて関心しています。私たちも今後どこまで映え
スキルを磨けるかは未知数ですが、ぜひ下記のQRコードからフォローしてゆるっと見守っ
ていただけると嬉しいです。

また、インスタ以外にも今年度からは大学訪問にも力を入れています。大学での講義は、
普段障害者と関わることがほとんどない学生さんたちに障害者の自立生活を知ってもらう
& 次世代を担う介助者を探す目的で行っています。これらの講義をきっかけに情報保障の
テイカーやヘルパーになってくれた学生さんたちもいて、とても嬉しく思っています。

今後も地域の人々を巻き込みながら障害者運動の楽しさや自立生活の大切さを伝え続け
たいと思っています。そして、私たち障害者の地域生活を支えてくれている介助者たちの
本当の魅力もどんどん伝えていきたいです。

少しでも私たちに興味を持ってくれた皆様、ぜひ一緒に地域生活を盛り上げていきましょ
う！！



5)外部協力(講師派遣やネットワーク作りのための協力)

STEPえどがわのスタッフは外部協力
として、講師派遣を始め、各種ネットワー
クや取り組みに協力し活動を行っています。
各種団体や学校、行政などと当事者が

積極的にかわりを持つことでSTEPえ
どがわを知ってもらうとともに、幅広く
情報を集め、STEPえどがわの活動に活か
しています。

ねん がつ ねん がつ きょうりよくじつせき
 <2022年4月～2023年3月までの協力実績>

めい スタッフ名	ないよう 内容
いまむら どうじしゃ 今村(当事者)	じる ぜんこくじりつせいかつ きょうぎかい ●JIL(全国自立生活センター協議会) じょうにんいんかい ・常任委員会 こくさいきょうりよくびーていー ・国際協力PT こっこうしょうけんとうかい えきむじんか とつきゅうしゃりよう ・国交省検討会(駅無人化、特急車両のバリアフリー) こくれんしょうがいしゃけんりじょうやく りけんいんかいだつせつ ・国連障害者権利条約・利権委員会脱施設コンサルテーション たいびーあい しょうがいしゃ にほんかいぎ ●DPI(障害者インターナショナル日本会議) じょうにんいんかい ・常任委員会 せいさくとうろんしゅうかいじつこういんかい ・政策討論集会実行委員会 ちいきこうせんりゃくかいぎ ・地域移行戦略会議 ちいきせいかつukai ・地域生活部会
つちや どう 土屋(同)	たいびーあい ぶかい ●DPIバリアフリー部会 4/14、7/14、8/18、11/10、1/12、 2/9、3/9 はねだだい ようはいりよしゃひなんけんしゅう ●羽田第3ターミナル要配慮者避難研修 4/19、4/28、9/13、 12/22 こうつう けんしゅうかいぎ ●交通サポートマネージャー研修会議 4/20、5/10、6/9、6/21、 8/24、9/20、3/7 こうつう けんしゅう じえいあーとうかい ●交通サポートマネージャー研修 5/24(JR東海)、7/20-21 じる えぬじーおーがたかいがいしえん こくないけんしゅう ●JIL-NGO型海外支援 国内研修 4/20、7/8、1/27 じる えぬじーおーがたかいがいけんしゅう こくないがっしゅく ●JIL-NGO型海外研修 国内合宿 10/28-30 えどがわ ぼうさいかいぎ ●江戸川みんなの防災会議 5/10、7/29、10/14、10/20、11/21、 12/16、2/20、3/18 しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅうかいぎ ●バリアフリー障害当事者リーダー養成研修会議 5/17、6/13、 7/7、7/23、8/4、8/29、9/8、9/22、10/13、10/20、11/16、 1/31、2/7 けんしゅうほんばん ほうこくかい ●NHK広域避難訓練事前取材 6/7 えどがわく いいんどうこうまちある ●江戸川区マスタープラン委員同行街歩き 6/17、6/22 だいがくそつろん ●大学卒論インタビュー 6/18、12/27

<p>つちや どう 土屋(同)</p>	<p> <small>じえいあーるひがしにほんぱりあふりーせいび</small> <small>かん</small> <small>いけんこうかんかい</small> ● J R 東日本 B F 整備に関する意見交換会 8/2 <small>でいびーあい</small> <small>ぶかい</small> <small>かい</small> ● D P I バリアフリー部会ゆるい会 8/13、8/23、8/31、9/3、 9/6、9/10、10/5、10/8、1/17、1/25 <small>じゃいかこうつうけんしゅう</small> ● JICA交通研修 10/25 <small>とうきょうみんいれんそーしゃるわーかーぶかいがくしゅうかいこうぎ</small> ● 東京民医連 S W 部会学習会講義 11/2 <small>こっこうしょうちんたいじゅうたくぱりあふりーかだいぶんせき</small> ● 国交省賃貸住宅 B F 課題分析ヒアリング 11/15、11/24 <small>あらかわりゅういき</small> ● 荒川流域ネットワークシンポジウム 11/20 <small>ちばしょうかだいがく</small> <small>せいらいほう</small> ● 千葉商科大学ゼミ生来訪 1/23 <small>けんしゅう</small> ● カンボジア研修 2/11-17 </p>
<p>ひるかわ どう 蛭川(同)</p>	<p> <small>とうきょうとそうだんしえんじゅうじしゃけんしゅうけんとうかい</small> ● 東京都相談支援従事者研修検討会 <small>ぜんたいかいぎ</small> <small>ぜん</small> <small>かい</small> 全体会議 全4回(5/25、7/28、11/30、3/8) <small>ないようせいり</small> <small>かいぎ</small> 内容整理チーム会議(7/8、8/10、9/6、10/3、11/24、2/7) <small>かいぎ</small> リーダー会議(11/18、2/21) <small>えどがわくそうだんしえんじぎょうしゃれんらくきょうぎかい</small> <small>え</small> <small>そうれん</small> ● 江戸川区相談支援事業者連絡協議会(江相連) <small>りじかい</small> 理事会 (5/19、6/8、7/28、12/14、2/8、3/8) <small>けんしゅうぶかい</small> 研修部会(4/26、5/20、8/9、11/10、1/5、3/16) <small>ていれいかい</small> <small>つき</small> <small>かい</small> 定例会 月1回 <small>えどがわくいどうしえんじぎょうしゃれんらくかい</small> <small>いどうれん</small> ● 江戸川区移動支援事業者連絡会(移動連) <small>うんえいいいんかい</small> 運営委員会(6/22、7/20、9/29、10/19) <small>そうかい</small> 総会(8/24) <small>えどがわく</small> <small>せいしんしょうがい</small> <small>たいおう</small> <small>ちいきほうかつ</small> ● 江戸川区の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム・ピアサポー <small>わーきんぐぐるーぷ</small> <small>ぜんたいかい</small> ト W G (8/5、12/8、2/9)全体会(6/23、11/17、3/9) <small>えどがわくしょうがいしゃだんたいれんらくかい</small> <small>しょうだんれん</small> ● 江戸川区障害者団体連絡会(障団連) <small>ていれいかい</small> <small>しんねんかい</small> 定例会(6/2、2/2=新年会) <small>とうきょうとじりつせいかつ</small> <small>きょうぎかい</small> <small>てい</small> ● 東京都自立生活センター協議会(TIL) <small>そうだんしえん</small> 相談支援サポートグループ(6/10、8/26、10/28、12/23、 2/24) <small>うんえいいいんかい</small> 運営委員会(3/20) ● さんしょうがいフォーラム </p>

<p>ひるかわ どう 蛭川(同)</p>	<p>ていれいかい 定例会(5/23、7/11、9/13、3/22) せいどせいさくいいんかい じむきょくかいぎ 制度政策委員会(8/15)事務局会議(3/20) ●れいわ ねん どうこうせいろうどうしやうしやうがいはしやそうごうふくくしすいしんじぎやう しょうがい 令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「障害ピアサポート けんしゅう こうし ようせい けんしゅう こうかそくてい 研修における講師の養成のための研修カリキュラムの効果測定および ガイドブックの開発」 けんとういいんかい 検討委員会(7/31、9/18、3/21) きそ せんもん みなお うちあわ 基礎・専門テキストの見直しチーム打合せ(8/28、9/30、10/23、 2/21)</p>
<p>くどう どう 工藤(同)</p>	<p>とうきやうこくさいくこう かぶしきがいしゃ よう しゃたいおうくんれん 4/19 東京国際空港ターミナル株式会社 要サポート者対応訓練 だい かいでいーびーあいさべつかいしやうほうびーていーかいぎ 4/27 第22回DPI差別解消法PT会議 こくりつせいしやうねんきやういくしんこうきこう こくりつ きねんせいしやうねんそうごう 4/28 国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合 センター現地調査・講評 げんちちやうさ こうひやう 5/11 コマニー株式会社 新国立競技場UDツアー視察 かぶしきがいしゃ しんこくりつきやうぎじやうゆーでいー しさつ 6/10 JIL中部ブロックユース講師「公共交通機関について～わたした ちができること～」 とうきやうじよしだいがく そつろん ちやうさきやうりよく 6/21 東京女子大学 卒論インタビュー調査協力 こくどうつうしやうかんとうんゆきやく だいかいどうとうえんかつかひやうかかいぎかんと 6/28 国土交通省関東運輸局 第4回移動等円滑化評価会議関東 ぶんかかい 分科会 だい かいでいーびーあいさべつかいしやうほうびーていーかいぎ 6/29 第23回DPI差別解消法PT会議 じる きむらゆみ こうえんかい 7/1 JIL 木村由美さん講演会 こくりつしやうがいしや こうぎ 7/7 国立障害者リハビリテーションセンター 講義(オブザーバー さんか 参加) いっぱんしやだんほうじん やつがたけ 7/11 一般社団法人 八ヶ岳アウトドア・アクティビティーズ ユニバー サルツーリズムのコンテンツ造成ワークショップ とおと おかぶしきがいしゃ くるま しょうしやびんぼう ぎめんたか かん 7/14 TOTO株式会社 車いす使用者便房における座面高さに関す る追加調査 ついかちやうさ いっぱんざいだんほうじん にほんきかくきやうかい じす ぜつと げんあんさくせいいいんかい 7/21 一般財団法人 日本規格協会 JIS Z 8210原案作成委員会 じえいあーるひがしにほん せいび かん いけんこうかにかい 8/2 J R 東日本 バリアフリー整備に関する意見交換会 じる たいにちしんさ いにるほうもん 8/18～8/27 JIL ジュネーヴ対日審査・ENIL訪問</p>

<p>くどう どう 工藤(同)</p>	<p>とうきょうとふくしほけんきょく れいわ ねんどだい1かいしやうがいしやさべつかいしやうしえん 9/7 東京都福祉保健局 令和4年度第1回障害者差別解消支援 ちいききやうぎかい しよめんかいさい こうえきざいだんほうじんきやうようひんすいしんきこう だい かい 地域協議会(書面開催)9/21 公益財団法人共用品推進機構 第1回ア じ すげんあんさくせいいんかい クセシブルサービスJIS原案作成委員会 こくごとうつうしやう だい かい いどうとうえんかつかひやうかかいき ずいこう 9/29 国土交通省 第8回 移動等円滑化評価会議(随付) えーでいあい えすきやつぶ ほうこく 10/21 A D I ESCAPサイドイベント報告 こうえきざいだんほうじん こうつう ざいだん えき のりかえけいろ 10/27 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 駅の乗換経路 あんない かん げんちちやうさ 案内に関する現地調査 こくごとうつうしやう しんかんせん たいさくけんとうかいご とりくみじやうきやう 11/7 国土交通省 新幹線のバリアフリー対策検討会後の取組状況 かかわ いけんこうかんかい ずいこう に係る意見交換会(随付) あいちけんじゅうとしやうがいしやだんたいれんらくきやうぎかい あいじゅうれん 11/13 愛知県重度障害者団体連絡協議会 愛重連シンポジウム こうし 2022講師 いっぱんしやだんほうじん でんししゅつぱんせいさく りゅうつうきやうぎかい でんししよせきはんばい 11/14 一般社団法人 電子出版制作・流通協議会 電子書籍販売サ こうじやう し けんとうかい だい かい イトのアクセシビリティ向上に資する検討会(第1回) いっぱんしやだんほうじん でんししゅつぱんせいさく りゅうつうきやうぎかい でんししよせきはんばい 12/2 一般社団法人 電子出版制作・流通協議会 電子書籍販売サイ こうじやう し トのアクセシビリティ向上に資するヒヤリング こうえきざいだんほうじんきやうようひんすいしんきこう だい かい 12/7 公益財団法人共用品推進機構 第2回アクセシブルサービス じ すげんあんさくせいいんかい JIS原案作成委員会 とうきょうとふくしほけんきょく れいわ ねんどだい かいとうきょうとしやうがいしやさべつかいしやう 12/13 東京都福祉保健局 令和4年度第1回東京都障害者差別解消 しえんちいききやうぎかい 支援地域協議会 じるぜんこく ほうもんほうこく 12/20 JIL全国セミナー ヨーロッパ訪問報告 いっぱんしやだんほうじん でんししゅつぱんせいさく りゅうつうきやうぎかい でんししよせきはんばい 1/13 一般社団法人 電子出版制作・流通協議会 電子書籍販売サイ こうじやう し けんとうかい だい かい トのアクセシビリティ向上に資する検討会(第2回) こくごとうつうしやう かだい いけんこうかんかい ぜんはん 1/17 国土交通省 バリアフリー課題についての意見交換会(前半) こくごとうつうしやう かだい いけんこうかんかい こうはん 1/19 国土交通省 バリアフリー課題についての意見交換会(後半) こうえきざいだんほうじんきやうようひんすいしんきこう だい かい 1/30 公益財団法人共用品推進機構 第3回アクセシブルサービス じ すげんあんさくせいいんかい JIS原案作成委員会 こくごとうつうしやう てつどう くるまいすりやうしやなど りやうかんきやうかいぜん む 2/1 国土交通省 鉄道における車椅子利用者等の利用環境改善に向 いけんこうかんかい けた意見交換会 かぶしがいいしやえぬえいちけい か がくみらいかん せいさく 2/7 株式会社NHKエンタープライズ 科学未来館プロトタイプ制作</p>
--	---

<p>くどう どう 工藤(同)</p>	<p>たいげんかい じぜんうちあわ におけるデモ体験会 事前打合せ</p> <p>じゃいか みなみ しゃかいはいはつしやうぎやうせいかん しさつほうもん 2/10 JICA 南アフリカ社会開発省行政官の視察訪問</p> <p>かぶしきがいしやえぬえいちけい かがくみらいかん 2/12 株式会社NHKエンタープライズ 科学未来館プロトタイプ せいさく たいげんかい 制作におけるデモ体験会</p> <p>みつびしゆうえふじえい あんど かが だい かいどくしよ 2/17 三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株) 第3回読書バリ かんきやうせいび でんししよせきしじやうどう かくだい かん けんどうかい アフリー 環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する検討会(オ さんか ブザー参加)</p> <p>わ せ だ だいがく かん すいしんじぎやう 2/22 早稲田大学 ピアサポートに関する推進事業ヒアリング</p> <p>とうきやうとふくしほけんきよく れいわ ねんどだい かいとうきやうとしやうがい りゆう 2/27 東京都福祉保健局 令和4年度第1回東京都障害を理由とす さべつかいしやう ちやうせいいいんかい しよめんかいさい る差別解消のための調整委員会(書面開催)</p> <p>いっばんしやだんほうじん でんししゆばんせいさく りゆうつうきやうざい でんししよせきはんぱい 2/28 一般社団法人 電子出版制作・流通協議会 電子書籍販売サイ こうじやう し けんとうかい だい かい トのアクセシビリティ向上に資する検討会(第2回)</p> <p>とうきやうとふくしほけんきよく れいわ ねんどとうきやうとしやうがいしやべつかいしやうしえん 2/28 東京都福祉保健局 令和4年度東京都障害者差別解消支援 ちいききやうぎかい ぶかい だい かい 地域協議会の部会(第2回)</p> <p>ないかくふしんちやうしやゆーでいー だい かいじっしせつけい 3/2 内閣府新庁舎UDレビュー(第3回実施設計)</p> <p>こくどうつうしやう しやうがいしやなど ひなんゆうどう さくせい む 3/3 国土交通省 障害者等の避難誘導ガイドライン作成に向けた けんとうかい あん かいさい む いけんこうかんかい 検討会(案)の開催に向けた意見交換会</p> <p>いっばんざいだんほうじん にほんきかくきやうかい れいわ ねんどだい かいぜっと げんあん 3/6 一般財団法人 日本規格協会 令和4年度第3回Z8210原案 さくせいいいんかい 作成委員会</p> <p>かぶしきがいしや だい かい くるまいすしやうしやようちゆうしやせつどう てきせい 3/7 株式会社サンビーム 第2回「車椅子使用者用駐車施設等の適正 りやう かん さくせい かが けんとうかい 利用に関するガイドライン作成に係る検討会」</p> <p>じるちゆうぶ こうし こくれん しやうがいしやけんり 3/10 JIL中部ブロックユース講師 国連ジュネーブ 障害者権利 じやうやくしよかいしんさ ほうこく 条約初回審査の報告</p> <p>みつびしゆうえふじえい かが だい かいどくしよ 3/15 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 第4回読書バリア かんきやうせいび でんししよせきしじやうどう かくだい かん けんとうかい フリー 環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する検討会(オ さんか ブザー参加)</p> <p>きやうがい あいえる た あ 3/25~4/1 メインストリーム協会 ベトナムにILセンター立ち上げ ほうもん ずいこう 訪問(随行)</p>
<p>なかそねすずね どう 中曽根鈴音(同)</p>	<p>じるちやうかくしやうがい かいぎつき かい きかく ●JIL聴覚障害プロジェクトチーム会議月1回、企画スタッフ 4/15</p>

なかそねすずね どう 中曽根鈴音(同)	●(JIL)情報保障チーム立ち上げ 月々5件ほどの派遣数 ●JIL女性プロジェクト(世界女性 W S)会議月1回、企画スタッフ ●TIP(東京インクルーシブ教育プロジェクト)運営委員 ●風研究会(今後のバリアフリー演劇のあり方を考える研究会) 研究員 ●アメニティフォーラム@滋賀 登壇 2/10~12 ●JILユースイベント@オンライン 登壇 2/14
------------------------	--

1. バリアフリーなアウトドア体験記(記:工藤登志子)

2020東京パラリンピックを期に現在国内でも障害者の余暇活動に注目が集まっています。また、SDGsが一般に広まり「誰1人取り残さない」というSDGsの理念への理解が深まっている中で、観光業界や地域社会においてもユニバーサルツーリズムは重要な課題となっています。そこで今回は、山梨県北杜市にある「八ヶ岳アウトドア・アクティビティーズ」さんにお声がけいただき、2022年7月にユニバーサルカヤック体験のワークショップに参加してきました。ユニバーサルカヤックとはその名の通り、障害の有無や種別に関わらずどんな人でも楽しめるようにと様々な工夫やサポートのもとで楽しめるアウトドアアクティビティです。今回のワークショップでは、座学の他、実際

にカヤックに乗り、障害当事者の立場からどのようなサポートが必要かを話し合いました。私の場合は筋ジストロフィーという障害のため、上肢・下肢の筋力が弱く、ライフジャケットの着脱や車いすからカヤックへの移乗、パドルを漕ぐ等の動作が自分一人では困難です。そこで、介助者やインストラクターの方々に協力してもらいながら事前準備をし、陸の上で車いすからカヤックへ乗り込んでから水辺まで運んでもらいました。また、カヌー上でなるべく楽な体勢で座れるよう、スポンジやタオルを使って足の向きや腰の角度等を微調整しました。車いすからカヤックへの乗移は座面の高低差も大きく、普段介助を受ける時の動作とも異なるため、指示の出し方や介助者の身体の使用方に工夫が必要だと感じました。でも、

みんなでワイワイとアイデアを出し合いながらできて、大変さよりも楽しさの方が大きかったです。湖の上に浮かびながら自然の音を楽しんだり、パドルを漕いで風を感じたり、ちょっと手を伸ばすと湖の水面に触れることもでき、「湖の水って思ったよりもひんやりしてるんだ！」と新鮮な気分を味わいました。何よりも、重度障害者でも工夫次第でみんなと同じようにアウトドアを楽しめるんだ、と知れたことが一番嬉しかったです。

今回のまた、カヤック体験に合わせて同じく北杜市にある「88PEAKS」さんにもお邪魔しました。「88PEAKS」さんは北杜市清里の豊かな自然を味わいながら楽しめるサウナをコンセプトにしているのですが、オーナーの小野島さんとSTEPえどがわのいまむらじちよう ぐうぜん で あ だれ 今村理事長が偶然出会ったことから「誰もが使えるバリアフリーサウナ」の構想ができ、クラウドファンディングをして完成したサウナです。私自身、これまでサウナを利用したことが一度もなく本当に使えるのか不安でしたが、実際に行ってみると入り口からサウナまでの経路は段差が解消されており、用意されていたシャワーキャリーはフレームが熱くなりにくいプラスチック製のものにさらにシートを被せて火傷しないように工夫されていました。

サウナ小屋に入り数分間じっと過ごし、出たいと思ったタイミングで外へ。自然のそよ風に吹かれながらぼーっとしたり冷たいシャワーを浴びて熱を冷まし、再び小屋の中へ…。そんなことを何回か繰り返すうちに身体の芯からじんわりと温まっていくのを感じました。私は全身の筋肉量が少ない分、普段から代謝が悪く汗をあまりかけないのですが、サウナでは全身から滝のような汗が流れ、思いつき運動した後のようなすがすがしい気持ちになれました。これが今はやりの「整う」ということか！！と感動しました。これ以来私はすっかりサウナの虜に。毎日サウナに行きたくてうずうずしています。…が、北杜市は江戸川区から遠い上に、都内のサウナはどこもバリアだらけというのが悲しい現実。。。都内でも気軽に通えるバリアフリーサウナがたくさん出来れば良いのになあ～と、切に願っています。





とうじしゃさんかく
2. 当事者参画

しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅう こうつう けんしゅう
a) バリアフリー障害当事者リーダー養成研修と交通サポートマネージャー研修
き つちやみねかず
(記:土屋峰和)

ぼく すうねんまえ かが けんしゅう
僕が数年前から関わっている研修として、主にこの2つがあります。この2つの研修にはとても重要な共通点があって、それは障害当事者が深くかかわっている点です。当事者参画と言われるもので、参加するということだけではなく、内容等を調整する段階から障害当事者が関わっています。

なぜそうする必要があるのか。それは、わたしたちのことを、わたしたち抜きに決めないで欲しいからです。

しょうがいしゃ かん せいど せいび ひびすす
障害者に関する制度や整備は日々進んでいます。しかし、せっかく時間とお金をかけて進めたものでも、僕たち当事者からしてみると、とても使いにくい、もしくはぜんぜん意味のないものになってしまう現実が、今でも多々見受けられます。

なぜそうになってしまうのか。答えは簡単

です。それを作るときに当事者の意見を聞かないまま、関係者や専門家だけで進めてしまったからです。これは障害者関係に限らず様々な分野にも言えるのではないかと思います。やはりその当事者に意見を聞かないままそれを作ったとしても、本当のニーズには沿わないのではないかと思います。

せっかく時間とお金を掛けたのに、それが使いにくいものだったとしたら、それはもったいなすぎる。新しいのに使いにくいなんて…。誰のために作ったの？って思っています(これらの作るという中には、形のあるハード的な部分はもちろんですが、サービス等の形として見えないソフト的な部分も含まれます)。

そのような事を少しでも減らしていきたいとの思いから、この2つの研修があり、そ

い み おお おも
の意味は大きいと思っています。

●バリアフリー障害当事者リーダー養成 研修

しょうがいとうじしゃむ けんしゅう ほう
障害当事者向けのバリアフリー研修。法
せいど せいで じしん しょうがい
制度はもとより、自身の障害だけではなく、
ほか しょうがい さまざま しょうがい じょうたい ふく
他の障害や様々な障害の状態も含めた
ひろ してん も ぎょうせいしゆさい いいんかいとう
広い視点を持ち、行政主催の委員会等で
もんだいていき ぐたいてきていあん
問題提起や具体的提案のできる、バリアフ
りーに精通した障害当事者の人材の発掘・
いくせい もくてき とうじしゃさんかく お
育成を目的としている。当事者参画を推し
すす けんしゅう
進めるための研修。

でいびーあいにほんかいぎ ぶかい
DPI日本会議バリアフリー部会が
しゆさい きかく じっし まいとし かいみつ
主催し、企画・実施している。毎年1回3
かかん についでい ぜんこくかくち かいさい
日間ほどの日程で、全国各地で開催されて
いる。その地域のCILが企画・運営
じむきよく にな
事務局を担う。

としが かいさい わり おお
都市部での開催がこれまでも割と多め
ではあるが、ちほう かいさい
地方でも開催され、それぞれの
かだい きょうゆう
課題などが共有されている。バリアフ
りーに関する課題はとしが ちほう こと
一に関する課題は都市部と地方で異なる
ことも多いのと同時に、その土地ならではの
かだい きょうゆう
課題も共有できる。

たすう しょうがいしゃ あつ どうけんしゅう
多数の障害者が集まる当研修では、
ざがく 座学だけでなくグループワークもおお と
入れ、他者の意見や視点、他障害のことを
し よ きかい はばひろ ちしき してん
知る良い機会にもなる。幅広い知識や視点
え しょうがいしゃ だいひょう さんか
を得ることで、障害者を代表して参加す
けんとういいんかいとう か きけんしゅうとう こうし
る検討委員会等や、下記研修等の講師と
かつやく はば ひろ
しての活躍の幅も広がる。

いぜん くら とうじしゃさんかく ば ふ
以前に比べ当事者参画の場は増えてきて
いるが、それを担える障害当事者が不足し
げんじょう う ぼ
ている現状も浮き彫りになってきており、
にな て ふや かつどう ひと
担い手を増やしていく活動の一つでもある。

●交通サポートマネージャー研修

こうつう けんしゅう
バスや鉄道事業者等の交通事業者向け
てつどうじぎょうしゃなど こうつうじぎょうしゃむ
接遇研修。バス乗務員や駅係員などの
せつぐうけんしゅう じょうむいん えきかりいん
げんぼ かた じんじ うんこうかんり じむ
現場の方や、人事や運航管理などの事務
しよく ふく さまざま かた たいしやう こうつう
職も含めた様々な方を対象。交通エコロ
ジーモビリティ財団が主催し、東京、京都、
おおさか ひょうご ねん すうかいかいさい
大阪、兵庫で年に数回開催されている。

この研修の最大の特徴は、様々な障害
とうじしゃ たすう こうし
当事者が多数、講師やアドバイザーとして
けんしゅう さんか
研修に参加していること。

えき じょうしゃ じ
駅やバス乗車時のコミュニケーションの
と かた しかくしょうがいしゃ あんない
取り方をはじめ、視覚障害者への案内・
ゆうどう しかた くるまいす たいおう
誘導の仕方、車椅子ユーザーへの対応の
しかた くるまいす など とうじしゃ
仕方や車椅子について等を、その当事者が
みずか けいけん ふ つた ほか
自らの経験も踏まえて伝えている。他にも、
ちょうかくしょうがい せいしんしょうがい ないぶしょうがい なんびやう
聴覚障害、精神障害、内部障害、難病、
ちい こ つ
小さなお子さん(ベビーカー)を連れての
がいしゆつけいけん かあ さんか
外出経験のあるお母さんも参加する。

じぎょうしゃがわ たいおう なや
事業者側としてはどう対応していいか悩
むことが多いとの意見が多数聞かれるが、
おお いけん たすう き
そういった疑問や気になることを、直接
しょうがいとうじしゃ き ば ふだん
障害当事者に聞ける場になっている。普段
ぎょうむちゅう き
の業務中には聞くことはできないので、
きちやう ば こえ
貴重な場との声もある。

どうきょうとそうだんし えんじゅうじしゃけんしゅうけんとうかい しょうがいしゃ けんしゅう き ひるかわりょうこ
b) 東京都相談支援従事者研修検討会と障害者ピアサポート研修(記: 蛭川涼子)

どうきょうとそうだんし えんじゅうじしゃけんしゅうけんとうかい
1) 東京都相談支援従事者研修検討会と
ていそうだんし えん ほっそく
TIL相談支援サポートグループの発足

2020年から関わらせてもらっている
けんとうかい どうじしゃ
検討会は、いつまでたっても、当事者とし
いけん
ての意見というのはこれでいいのかな?と
きんちょう れんぞく ねん
いう、緊張とプレッシャーの連続です。2年
がんば つぎ こうたい おも
頑張ったら次は交代してもいいよね、と思
てい どうきょうとじりつせいかつ きょうぎかい
ってTIL(東京都自立生活センター協議会)
かたがた そうだん ねん あき
の方々に相談したのが、2011年の秋ごろ
でした。

そのときに感じたのは、交代できそうな
ひと み あ しーあいえる じりつ
人が見当たらない、というC I L (自立
せいかつ じんざいがそくもんだい つら
生活センター)の人材不足問題。「辛かった
むり
ら無理しなくていいんだよ」と言われたも
のの、「先輩たちがつないできた当事者
せんぱい どうじしゃ
さんかく や
参画をここで止めてしまっているのか」と
きも すほんとう こうにん
いう気持ちを捨てきれず、本当に後任の
じんざい し とない
人材はいないのかを知りたくて、都内
しーあいえる そうだんし えん かか どうじしゃ
C I Lで相談支援に関わっている当事者
はどのくらいいるのか、という実態調査を
させてもらいました。

けっか う ぼ とない
その結果、浮き彫りになったのは、都内
しーあいえる そうだんし えん かか どうじしゃ
C I Lで相談支援に関わっている当事者ス
タッフは だいいじょう わり だい
タッフは 40代以上が 8割、20~30代は
わり じじつ
たったの 2割という事実です。

いっほう そうだんし えん かか どうじしゃ
一方で、相談支援に関わっている当事者
めいいじょう どうじしゃ
は 50名以上いることもわかり「当事者は

いる、つながりさえ保ち続ければ、まだ
いじ きも
維持できる」という気持ちにもなれました。
ねが そうだんし えん
そこで、お願いしたのが相談支援のサポー
トグループの発足です。

サポートグループはピアカンに根付いた
ものなので、当事者のみで行うことにしま
どうきょうと どうきょうとそうだんし えんせんもんいん
した。東京都には「東京都相談支援専門員
ネットワーク」という障害の有無にかかわ
らざる多くの相談支援専門員のネットワーク
おほ そうだんし えんせんもんいん
が存在していたので、あえて当事者(ピア)
そんざい どうじしゃ
のみネットワークを作りたかったという
ものもあります。

ほっそく ねん げつ いちど あつ
発足させて1年。2か月に一度の集まりに、
いろいろ たす えどがわく
と助けられました。江戸川区とい
ちいき ひろ ひろ
う地域でのつながりが広がれば広がるだ
け、当事者としての足元が不安定になりそ
うになるのを、サポートグループの仲間
なかも
に支えてもらえました。このネットワークを通
ささ つう
じて、東京都の当事者参画をこれからもで
どうきょうと どうじしゃさんかく
きたらいいなと思いながら、私自身ももう
おも わたしじしん
すこ いいん つづ おも
少し委員を続けようと思います。

しょうがいしゃ けんしゅう しーあいえる
2) 障害者ピアサポート研修に、C I Lの
ピアサポート(ピアカン)を伝える

もうひとつの当事者参画は、「障害者ピ
けんしゅう きょうりよく れいわ ねん
アサポート研修」への協力です。令和3年
じりつせいかつえんじょ けいかくそうだんし えん
から、自立生活援助、計画相談支援、

しょうがいじそだんしえん ちいきいこうしえん ちいきていちゃく
障害児相談支援、地域移行支援、地域定着
しえん しゅうろうしえんびーがた じぎょうしょ
支援、就労支援B型の事業所において、
とどうふけん じっし しょうがいしゃ
都道府県が実施する「障害者ピアサポート
けんしゅう う しょうがいしゃ
研修」を受けたピアサポーター(障害者も
しょうがいしゃ もの やと
しくは障害者であった者)を雇うと「ピアサ
たいせいかさん びーがた じっしあさん と
ポート体制加算(B型は実施加算)」が取れ
るようになりました。

しーあいえる ほっそくとうしょ
CILは発足当初から、ピア・カウンセリ
じりつせいかつ
ングや自立生活プログラムをはじめとする
ピアサポートを土台とした活動をしていま
どだい かつどう
すが、相談支援の中で、ようやく「利用者
そうだんしえん なか りようしゃ
と、相談支援の中で、ようやく「利用者
おな めせん た そうだん じよげんとう おこな
同じ目線に立って相談・助言等を行う」ピ
アサポートの価値が認められたということ
でもあります。

かさん そうせつ
また、ピアサポート加算の創設は、これま
しょうがいしゃこよう わくぐ
での障害者雇用の枠組みではなく、ピアサ
しょうがいしゃ いっしょ はたら
ポーター(障害者)と一緒に働くというこ
つう しょうがいふくし じゅうじ じぎょうしょ
とを通じて障害福祉に従事する事業所は
しょうがいりかい ふか
もっと障害理解を深めてくださいよ、とい
くに こうろうしょう こ
う国(厚労省)のメッセージも込められてい
るようです。そのためにも、ピアサポートと
なに は何か、ピアサポーターの役割とは何か、
なにか やくわり なにか
は何か、ピアサポーターの役割とは何か、
ただ りかい けんしゅう じゅんび ひつよう
を正しく理解する研修を準備する必要が
けんしゅう つく
あり、研修テキストを作るために、さまざ
しょうがいりよういき かつどう
まな障害領域のピアサポート活動をして
ひと あつ
いる人たちが集められました。

しょうがいしゃ けんしゅう どうしょ せいしん
障害者ピアサポート研修は、当初、精神
しょうがいりよういき
障害領域の「ピアスペシャリスト(ピアサポ
せんもんいん
ート専門員)」がベースになっていたのも、ピ
アサポーターになりたい精神障害当事者
せいしんしょうがいとうじしゃ
のスキルアップはもとより、継続して働く
けいぞく はたら
ために意識することが研修内容となつて
いしき けんしゅうないよう
いきました。なので、CILのピア・カウンセ
しーあいえる
リングとは、使う言葉が違って、なんだ
いわかん
か違和感がありました。

いわかん かいしょう せいしん
そこで違和感を解消するために、精神
りよういき とうじしゃ かたがた いけんこうかんかい ひら
領域の当事者の方々と意見交換会を開き、
はいけい つか ことば いみ つた
それぞれの背景や使う言葉の意味を伝え
あ
合うことをしてみたら…あつという間に
いわかん わらい き
違和感がなくなってしまいました(笑)。気
づく しゅうせい ようせいけんしゅう
づけば、テキスト作り(修正)から養成研修、
とうきょうとしゅさい けんしゅう おお かか あたら
東京都主催の研修まで、多くの関わり新
ひと であ
しい人たちとの出会いにつながりました。
しょうがいしゃ けんしゅう せいしんりよういき
障害者ピアサポート研修は、精神領域の
けんしゅう しーあいえる
研修をベースにしているので、CILでは
いしき
あまり意識してこなかったピアサポートに
ひつよう してん おし けんしゅう
必要な視点も教えてもらえます。研修に
きょうりよく なか いこう
協力させてもらう中で、コロナ以降まとも
ひら しーあいえる
に開けていない、CILのピア・カウンセリ
かた おお ひと し
ングの方も、多くの人に知ってもらいたい
あらた おも
なあ、と改めて思うようにもなりました。
めざ ていきかいさい
目指せ定期開催！

3. 国際協力

a) 国連障害者権利条約 対日初審査 inジュネーブ 現場レポート (記: 曾田夏記)

2022年8月下旬、ついに国連障害者権利条約の初めての対日審査(建設的対話)がジュネーブにて行われました。STEPえどがわからは、曾田 & 工藤(トッシー)が参加しました。トッシーの介助者として初海外予定だった布川さんはコロナ禍に巻き込まれてしまいましたが、見事そのあとベトナムでリベンジを果たしていますので、その様子はぜひ別記事にてご覧ください~。

◎国連障害者権利条約の対日審査とは?

2014年、日本は国連障害者条約を批准しました。条約を批准した国は、条約で書かれている内容をどんな風に国内で実施しているか、国連障害者権利委員会(18名の委員から構成)に定期的に報告しなければなりません。この報告に基づき、国連障害者権利委員会が取り組み状況について政府と建設的対話を行い、改善を促すための「総括所見」を出します。コロナ禍でノビノビになっていましたが、2022年8月にジュネーブで行われた政府との建設的対話が、日本にとって「初」でした。このため、私たち障害者団体からも注目度はとても高く、約100名を超える

障害当事者、支援者、家族、関係者などが日本からジュネーブに集い、委員に対して効果的なロビーイングを繰り広げていました。100名を超える傍聴団は過去に例を見ないとこのことで、国連障害者権利委員会からも感激の言葉がかけられました。私はこれまでカナダ等、他国の審査もジュネーブで傍聴してきたのですが、100名という人数の背景には、重度の障害があっても複数名の介助者をつれて海外に渡航できる介助制度を築き上げてきた日本の障害者運動の歴史があるな、と改めて思いました。

◎私自身の役割~日本の障害者団体が一つになるための、事務局員として~

私は、JDF(※日本障害フォーラム、13の障害者団体・全国組織から構成)パレルレポート特別委員会の事務局員として、2017年から今回の初審査に向けて準備に携わってきました。振り返ると、私にとっては2019年6月に提出した「JDFパレルレポート第一弾(意見集約版)」を作成するプロセスが、今後の障害者運動人生において「宝物」のような経験になり

つき かい じょうぶん かくだんたい いけん
ました。月1回、5条分ずつ、各団体が意見
ていしゆつ ぎろん か くるま
を提出し、議論を交わす。車いすユーザー
どうりよう おお しょくば わたし
の同僚が多い職場にいた私にとって、1
じょう ばほろ ばんや ぜん
～33条までの幅広い分野について全13
だんたい ていしゆつ たよう げんじよう し
団体から提出される多様な現状は、知ら
ほう おお
ないことの方が多かったのです。

たいりつ ろんてん ぎろん はくねつ
対立する論点について議論が白熱する
とき ことば ひようじよう はげ うら
時、言葉や表情の激しさの裏には、
しょうがいしゃ しえんしゃ
障害者として、また支援者として、それぞ
れが傷つけられてきた「痛み」を感じざるを
え ぎず いた かん
得ませんでした。教育・地域生活などでは
いけん わ じぶん
意見が分かれることもありましたが、自分/
あいて じんせい たが
相手が人生をかけてやってきたことを互い
ひてい ほう かん
に否定してはならないと感じつつ、それで
じえいでいえふ ひと
もJDFとしてどうしたら一つにまとめられ
るのか、ということ常を常に考えさせられ続
じた時間でした。

こんかい わたし じ むきょくいん
今回、私は事務局員としてジュネーブ
ところ
に渡航するにあたり、「みんなのために働
きたい」という気持ちがとても強くありま
した。仮に、今夏になり突然「ジュネーブ行
って」と言われていたら、決してそうは思え
なかつたと思います。この5年間の積み重
ねがあつたからこそ、みんなが納得できる
ロビーイングができるように事務局として
したささ じむきょく
下支えをしたい、という気持ちが自然と湧
きおこっていました。

いんしやうてき で きごと ◎印象的だった出来事

にちべんれん じえいでいえふ じ しつぱい
・日弁連・JDFロビーイング時の失敗
がつ にち にちようび ひこうしき にちべんれん
8月21日の日曜日、非公式で日弁連・
じえいでいえふきやうさい おこな さい
JDF共催でのロビーイングを行った際
のことでした。わたしは、前々日に進行役
せんぜんじつ しんこうやく
に急遽任命され、大勢の日弁連・JDFメ
まへ すす
ンバーを前にロビーイングを進めなければ
いけなくなりました。2時間という時間
せいやく なか いいん おお つた
制約の中、委員に多くのことを伝えようと
かく きてい じかん こ
各メンバーが規定の時間を超えてしゃべり
つづ じやうきやう しょうじき
続ける状況になり、正直なところタイム
キーパーとしての役割で精一杯になってい
ました。そして、会場にマイクが1本しか届
かなかつたため、マイクは発言者に回し、
じごえ しかいしんこう
地声で司会進行をしていました。

じかん こ きやうけいじかん
1時間を超えて休憩時間になったところ
で、日弁連の先生のおひとりが、怒った
ようす わたし ちか
様子で私のところに近づいてきました。

じやうほうほしやう はい はつげん まえ
「情報保障が入っているのに、発言の前
みな なまえ い
に皆さん名前を言っていないですよ。ね。
しかい ちゆうい なんちやう かた
司会が注意してください。あと、難聴の方
もいるので、必ずマイクを使うようにして
ください。」

もう わけ なさ きも
申し訳なさと、情けない気持ちでいっぱ
いになりました。私は、いつもSTEPえど
がわで情報保障について叱られたり、気づ
じやうほうほしやう しか き
かされる場面が多く、配慮を心掛けてき
ばめん おお はいりよ ころが
たつもりでした。JDFでも、多様な障害
じえいでいえふ たよう しょうがい
しゆべつ ころ なか なんと
種別のメンバーが揃う中で、何度となく

かいぎしんこうじ はいりよ はな あ
会議進行時の配慮を話し合ってきていまし
た。でも、いつもと異なる環境で、より
よゆう かんきょう で き
余裕のない環境でそれが出来ていなか
たのであれば、結局は普段もできていな
いということだよな、と、とても反省したの
でした。自分の心の中にチクツと残り続け
る失敗の記憶は、成功体験と同じくらい
たいせつ しん つぎ い おも
大切だと信じて、次に活かさなければと思
ってます。

◎おわりに

ねん ていねい せいか
5年をかけた丁寧なロビーイングの成果も



ちいきせいかつ きょういく
あり、地域生活・インクルーシブ教育はじめ、
しょうがいしゃだんたい うった もんだい ほうかつき
障害者団体が訴えてきた問題が包括的に
も こ そうかつしょけん こくれん だ
盛り込まれた総括所見が国連から出され
ました。条約が求めているとても高い
すいじゆん じんけん じつげん
水準の人権レベルを実現していくのは、ジ
ュネーブから戻ってきたあと、それぞれの
げんば じみち つ かさ おも
現場での地道な積み重ねでしかないと思
います。みんなで一丸となって引き出した
そうかつしょけん ないよう げんじつ
総括所見の内容と、現実のギャップはとて
もおお いっそくと い たか
も大きい。一足飛びには行かなくても、高
く、遠くをめぐり目指して、ここからまた、みんな
でやり続けていきたいと思ひます。

なりたくこう しゅつぱつ
成田空港の出発ゲート
そ だ あんどくどう
にて曾田 & 工藤。
すてっぷ つく
STEPのみんなが作って
くれた横断幕をもってい
る。

こくれんぎじょうない けんせつてきたいわ
国連議場内で、建設的対話
しゅうりょうご ぼうちやうだんやく めい
終了後。傍聴団約100名
えがお あ
が笑顔でこぶしを挙げてい
ようす
る様子。



ほうこく
ジュネーブ(ヨーロッパアクセス)報告
きくどうとしこ
(記:工藤登志子)

※この原稿は2022年にJILの国際機関誌「Lead on! Times 第8号」に寄稿したものをさらに短縮版にしたものです。全文はSTEPえどがわのホームページに掲載してあります。下記のURLリンクもしくは右記のQRコードからアクセスできます。

<https://www.step-edogawa.com/2023/07/geneva/>



か かいがいえんせい
●コロナ禍の海外遠征

これまで海外には何度か行ったことがあります。コロナ禍の今回は事前準備が大きく異なりました。私が渡航した8月時点では帰国の72時間前にPCR検査を行い、陰性証明を発行してもらわないと日本に入国できないとなっていました(このルールは9月に廃止。惜しかった)。今回滞在したヨーロッパの国では入国時の陰性証明が不要でしたが、日本では必要。つまり、出国したは良いが、万一渡航中にコロナ陽性になってしまったら帰国できないのです。そのため、PCR検査場が車いすでアクセスできるのか、そこまでの交通手段はあるのか等を調べる作業もこれまでの事前準備に加わりました。また、万一帰国できなくなった場合に備えて車いすで泊まれるホテルをいくつかリストアップしておくことや、介助者のスケジュール調整が必要でした。そんなこんなで頭の中はコロナ対策でいっぱいでしたので、肝心の観光や都市のバリアフリー情報は十分に調べる余裕がありませんでした。STEPえどがわの今村代表からは「ヨーロッパはあまりバリアフリーじゃないから電動車いすだと大変だけど、頑張ってるね」と言われ、不安は募るばかり。ま、今村さんも何年か前にヨーロッパに行って、(車いすごとひっくり返ったりしていたけど)生きて帰ってきたから何とかできるでしょう…。

ひこうきたびす きた
●飛行機での旅は好きだけど嫌い

飛行機で出かけること自体は非日常的な体験でワクワクするし、空の景色や空港に降り立った瞬間の空気が何とも言えないパワーを感じます。でも、車いすユーザーが飛行機に搭乗するまでの煩わしさや機内での快適度、スタッフの対応に毎回エネルギーを吸い取られ、乗

るだけでヘトヘトになってしまいます。今回も利用したそれぞれの空港で必ず何かしらのトラブルが起き、その度に私はモヤモヤしていましたが、先輩の当事者リーダーたちは吠えていました。自分が理不尽な扱いを受けたら、相手が言葉の通じない外国人だろうがガタイの良い強面のスタッフだろうが、怯むことなく抗議する先輩方の姿はとても心強いものでした。乗り継ぎのドバイ空港では、誘導スタッフの時間の読みが甘く、私たちが機内に乗り込んだ時点で予定より2時間遅れ。乗り継ぎ時間は4時間もあったのに、なんでやねーん！と突っ込まずにはいられません。先に乗り込んでいた他の乗客たちは2時間ずーっと機内で待たされていて、とても気まずい思いをしながら乗り込んだわけですが、私の視界の中にはイラつく様子を見せたり、文句を言ったりする人がいませんでした。なるほど、こういう文化なのか、と思いつつ、自分は悪くないのに何だか申し訳ない気持ちでした。日本だったら確実に嫌な顔をされていたらどう感じたからです。その時に私は健康者の顔色を伺いながら生きているのかと実感しました。



ビジネス席に座ってピースをしている工藤。着陸後に自分の車いすがなかなか届かず、スタッフからの配慮で少しでも身体に負担がないように空いているビジネス席に座らせてもらえた。

エコノミー席に比べてゆったりしていて、背中、足、ひじ掛けの角度や高さをボタン操作で変えられとても快適だった。

●ジュネーヴの光と影

ジュネーヴの街はとても綺麗でした。歩道にゴミは落ちてないし、アメリカのようにエレベーター内で異臭がするという事はありませんでした。国連欧州本部があることが関係しているかどうかはわかりませんが、街中で車いすユーザーもよく見かけました。障害者を街で見かけるといことはそれなりにバリアフリーが整っているんだなと想像でき、実際に ترامや路線バスも快適に乗れました。”電動車いすに乗っている重度障害者で言葉もよくわからない女性”である私に対する人々の対応も自然体でした。海外に行くといつも「自分が障害者であることを忘れる」という感覚がありますが、それは物理的な環境以上に周りの人々から自分に向けられる視線や態度がそう感じさせるのだと思います。ジュネーヴでもそんな感覚

がありました。

良い面がたくさん見られた一方で、影の現実も見たような気がします。街中を散策中、空き地のようなところにアーティストックな壁画を見つけ、わあ～すごい！と思わず写真を撮っていると、そこはごみ集積所でした。そしてごみ収集車の影に隠れて20代くらいの若者たちが腕に注射針を刺していました。驚いてすぐにその場を離れましたが、国連に行った後に見たその風景はしばらく頭に残りました。



ごみ集積所の壁一面にスプレーで描かれたグラフィティアート。紫、黄色などカラフルな色で文字や人物が描かれている。ジュネーヴ駅から徒歩30秒ほどの、多くの人が行きかう歩道の脇にひっそりとあった。

●先進国でトイレ難民

駅にトイレの案内がなくスタッフに聞くと、アシスタント窓口の中に車いすトイレがあると教えてくれました。しかし行ってみると便座が壊れており使える状態ではありません。パリ北駅は地下鉄も高速鉄道も乗り入れるほどの大きな駅なので、車いすトイレも複数ありそうだと思います。別のトイレはないか聞くと、「あっちにあるよ～」とのこと。良かった～と思われたい通りに行くと、今度は車いすトイレが倉庫にされていてまたしても使えず。その場にいたスタッフに別のトイレはないかと聞くと、「地下にあるはず」と。しかし、「あっちにあるよ～」と教えられた地下行きのエレベーターは故障中。そこから地獄のエレベーター探しが始まりました。スタッフに「あっちにあるよ～」と言われて行くと、そこは駐車場にしか行かないエレベーター。また別のスタッフに「あっちにあるよ～」と言われて行くと、上の階にしか行かないエレベーター。もうスタッフは信用できん！と自力で探しても、地下に行くエレベーターがどうしても見つけられません。結局、2時間も駅をウロウロしてようやくたどり着いた地下の車いすトイレは、

まるで私を祝福してくれているかのように天井のミラーボールがキラキラと周り、なぜか個室の中に便器が2つもあるという、謎のお金のかけ方…。しかもトイレに入った瞬間、お姉さんに「ここを使いたいなら1ユーロ払って！！」と怒られ(実は有料トイレでした)、車いすユーザーはトイレを使うだけでこんなに苦労するのか、と思いました。



車いすトイレの室内。天井にはミラーボールがキラキラ
光り、2つの便器が壁を隔てて隣り合わせに並んでいる。
壁にはおむつ替えシートが接されている。

●ブリュッセルで会えた当事者リーダー-

パリでの思い出が強烈すぎて、正直ブリュッセルはあまり覚えていません(苦笑)。街の造りはパリに似ていて、お城のような建物が街の至る所にあり、石畳の歩道も多く残っていました。

ブリュッセルではENILという当事者団体の中で熱心に活動されているナディアさんに会うことが出来ました。ナディアさんは私と同じような電動車いすに乗っていて、ブリュッセルの街を自転車くらいのスピードでビューン！と走っていたのが印象的でした。ナディアさんにパリでの苦労話をすると、少し呆れたような顔で「ブリュッセルも一緒だよ」と言っていました。ヨーロッパは歴史的な建物が多く、景観を残したい人たちの声が強いためになかなかバリアフリーが広まらないのだそうです。また、運動に関わる当事者も年々減っていて高齢化しているとのことでした。それを聞いて私は日本も同じような課題を抱えている気がしました。そして、何か一緒に行動できないだろうかとも思いました。私が2015年にアメリカの障害者運動を見てエンパワーされたように、ヨーロッパや日本の若手当事者たちにも影響を与えられるような何か良いアイデアはないだろうか…。その答えはまだ見つかっていませんが、一

つだけわかっていことは、「バリアフリーな社会は自然には出来上がらない」ということ。これまでの経験からも、マイノリティーの当事者がバリアに気づき、声を上げ、行動していくことでしかバリアフリーな社会を作ることはいけません。常に運動の渦中になると嫌になってしまうことも多々ありますが、無理をせず、自分に出来ることを頑張っていけたら良いと思います。



パリにて。

うま の みぎて はた
馬に乗って右手で旗を
ふ あ
振り上げているジャンヌ
ダルクの像。

●最後に

今回のヨーロッパ視察をサポートして下さったJILの皆様、早く送り出してくれたSTEPえどがわのみんな、介助者、通訳の香苗さん、現地でお世話になった方々、日本から応援して下さった方々、猫さんのお世話をしてくれたOさん、どうもありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

b) JICA NGO等提案型プログラム

じりつせいかつ すいしん こくさいきょうりよく けんしゅう ほうもん
「自立生活を推進するための国際協カステップアップ研修」パラグアイ訪問

き はらしまけんたろう
(記:原嶋健太郎)

みなさんは初めての海外はどこへ行かれましたか？

2023年4月から社員として働き始めました、原嶋 健太郎です。私は 2022年11

がつまつ がつしよとう やく しゅうかん なんべい
月末～12月初頭で約1週間、南米のパラグ
アイへSTEPのメンバーとして海外支援の
かつどう い わたし はつ
活動に行ってきました。私にとって初の
かいがい こんかい ゆ ちきゅう
海外が今回のパラグアイ行き。いきなり地球
の裏側へ行くことになるとは思ってもいま
せんでした。

かいがいしえん ひょうご じりつ
この海外支援プログラムは、兵庫の自立
せいかつ きょうかい
生活センター「メインストリーム協会」を
ちゅうしん にほん じりつせいかつ
中心に、日本のいくつかの自立生活センタ
ーがグループに分かれ、中南米の各国へ行
き、その国の自立生活センターのメンバー
(これから自立生活センターを立ち上げよう
としているメンバー)たちと話をし、エン
パワメントすることが主目的です。活動の
めだま いっしょ こくさいしょうがいしゃ ひ
目玉としては、一緒に「国際障害者の日(12
がつみつ か おこな さんか
月3日)」に行われるマーチに参加すること
があり、その前後の日程で各国の現地メン
バーと色々な所を回り、色々な話をしまし
た。毎日必ず何かしらのイベントがあり、
どとう について ま じかん す
怒濤の日程であつという間に時間が過ぎて
いきました。



ゆ
このパラグアイ行きですが、メンバーはメイ
ンストリーム協会代表の廉田修二さん、ス
タッフの中來田護さん、映画「インディペン
デント・リビング」の監督である田中悠輝さん
と一緒に行かせていただきました。僕は20
23年度にゅうしゃ き
23年度に入社することが決まっています、
こんごすてっぷ かいがいしえんかつどう うえ
今後STEPの海外支援活動をしていく上で、
まはつ けいけんち あ
まずは経験値を上げてこい、ということで、
つちや かいじょしゃ い
土屋さんの介助者として行くことになりました。
あれ？つちや
土屋さんは？…はい、土屋さん
はしゅっぱつ ちやくぜん しんがた
は出発の直前に新型コロナにやられて、パ
ラグアイへ行く代わりにICUへ行くことにな
ってしまいました。つちや ぶゆうでん
土屋さんの武勇伝がまた
ひと ふ わらい
一つ増えるイベントでした(笑)。

かどた
パラグアイでは、廉田さんがこれまでの
かつどう おも げんち かた はな
活動や、思いを現地の方たちにお話しされ
るのを聞いている時間が多くありました。
き じかん おお
日本にほんの自立生活センター、海外支援のレジエ
ンドである廉田さんかどたの話はなしを間近まぢかであれだけ
き ひじょう きちよう たいけん
聞かせていただけたのは非常に貴重な体験
でした。かどた はなし なか こころ のこ
廉田さんのお話の中で心に残って



いるものは沢山あるのですが、その中からは、現地で自立生活センターを立ち上げようとしている代表メンバー2人(ブランカさん、スルマさん)に話していたものです。「優秀な障害者は親がいても自己決定をして、自立することができると思います。あなたもきっとできるでしょう。でも、俺が目指しているのは、どんな障害者であっても自立できる仕組みをつくりたいんですよ」。この話を聞いて、皆さんは当たり前のことだ、と思うかもしれませんが、これが自立生活センターの目指していく理念の根本であり、

一つここで紹介させていただきます。それ最終的なものである、と私の中では腹落ちがして、これに向けて自分の活動は繋がっていくのだと、強い感動がありました。自立生活センターを立ち上げようとしている代表のブランカさんは60歳を超えておられますが、非常にパワフルな方でした(50代でお疲れの皆様、まだまだです!)。地球の裏側で、自分達と同じ志を持って頑張っている人たちがいる。とても力を頂いた時間でした。行かせていただき、ありがとうございます。

じゃいか えぬじーおーとうていあんがた c) JICA NGO等提案型プログラム

じりつせいかつ すいしん こくさいきょうりょく けんしゅう ほうもん 「自立生活を推進するための国際協力ステップアップ研修」ベトナム訪問

くどうとしこ しゅつちようほうこく 工藤登志子の「ベトナム出張報告」

2023年3月24日～4月1日までの8日間、兵庫県西宮市にある自立生活センター「メインストリーム協会」が行っているハノイでの自立生活センター立ち上げ支援に同行するため、ベトナム・ハノイを訪問しました。

ハノイ初日、空港に降り立つとモワツとした東南アジア独特の湿度の高い空気に包まれました。ちょうど雨が降り多量な季節だったらしく、大雨の中関西メンバーたちと車に

のこ 乗り込みホテルへ。途中、車の外に目をやると前後左右どこを見てもバイクだらけ！これはコントか何かですか？と。驚きすぎると笑いが出ることを知りました。そしてみんな一応ポンチョを被ってるけど、絶対役に立ってないやろ～(^_^;)というくらいビュンビュンかっ飛ばして、ハノイの人たちはたくましいなあ～というのが第一印象でした。

まちなか おおがた
ハノイの街中は大型ショッピングセンタ

一や高層ビルがある一方で、大通りから
一本外れた路地に入ると昔ながらの市場
やスラム街のような景色が多く残っており、
今まさに急成長中というカオスな
雰囲気でした。

バリアフリー面もまだまだで、歩道は陥
没していたり大量のバイクが停められてい
て、私たち車いすユーザーが外を歩く時
はいつも車道の端っこを歩いていました。
ほとんどの路面店には入り口に大きな
段差があり、スロープ付きの路線バスも
数十路線あるうちの数路線のみでした。そ
のためか、街中では私たち以外の車いす
ユーザーは一人も見かけませんでした。さ
らに、ベトナムでは公的な介助制度もまだ
なく、障害者が受け取れる補助金もほんの
わずかとのことでした。脳性まひで重度の
身体障害者であるトゥアンさんは生活費を
稼ぐために路上で飴を販売していたら逮捕
されてしまい、私たちが訪問する3日前ま
で収監されていたとのことでした。

自分の江戸川での暮らしを振り返ると、
(不十分ではあるものの)公的介助サービ
スを受けられて、バスや電車に乗って出か

ぬのかわゆう しゅつちやうほうこく 布川悠の「ベトナム出張報告」

みな すてっぶ
皆さんこんにちは。STEPのコーディネ
ーターの布川です。
今回、工藤さんの介助兼STEPの健常者

けることもできます。それに比べ、ハノイで
重度障害者が自立生活を続けることはど
れだけ過酷なことか、たまたま生まれた
場所が違うだけでこんなに困難の差が大
きいのかと、とても考えさせられました。
そして、そんな社会を変えようと奮闘して
いる現地の当事者たちが本当にかっこよく
見えました。私自身が現地の当事者たち
からたくさんの刺激をもらい、改めて
障害者運動の原点に戻れたような感覚で
した。

また、一緒に行った関西のメンバーたち
やコーディネーターの布川さんと四六時中
一緒に過ごし、仲間意識が強くなって帰っ
てこれたことも私にとって大きな収穫で
した。数年前、ダスキン研修生として日本
に来たヒョウちゃんがメインストリーム
協会の活動を見て「ベトナムでも自立生活
運動をしたい！」と思ったように、自分たち
が楽しく活動することで誰かに影響を与
え、社会が変わるきっかけになるのだと思
います。だから私はこれからも楽しさを
追求しながら活動していきたいなと思
います！

たちば い
スタッフという立場でベトナムに行かせて
いただきました。私なりの感想を書かせて
頂こうと思います。

そもそも海外に行くこと自体初めてだった私は、「海外支援」という言葉にもあまりぴんときいていませんでした。介助の制度がある程度整っていて、お金にも余裕がある立場の人々が、外からああしろこうしろー！と言いに行く・・・なんて、言葉は悪いですがちょっと上から目線だなあなんてことまでちらっと考えてしまっていました。実際現地に行って、他団体含め12名の日本人と、自立生活センターを立ち上げたという志を持ったベトナム人メンバーと過ごしているうちに、私の心は動かされて行きました。

ベトナムには、日本のような介助制度はほぼありません。それどころか、外に出ればそこはバイク地獄。常に命の危険が伴う戦場のような状態です。通訳さんを挟めば、車いすのことは「イスグルマ」、障害者のことは「不自由な人」と訳されていました。まちあるいても、障害者に会うことは気が付いただけで1人だけでした。皆どこにいたんだろう・・・。家に閉じこもっているのかな。施設に閉じ込められているのかな。世界はこんなに広くて、日本人障害者はベトナムまで来られているのに、全然違う環境。考えると切なくなりました。

そんな環境で生まれながら、ベトナムの障害者たちにも当たり前前に地域で暮らせ

る権利がある、と静かに心を燃やしていたヒョウちゃん。(今回自立生活センターを立ち上げようとしているリーダー)彼女の静かな闘志に、尊敬の念を抱きました。運動ってこういう事なんだ、と肌で感じる事ができる一週間となりました。

ベトナム滞在中、6日目にして私たちが宿泊していたホテルの段差に、スロープが設置されました。「障害者が外に出ることで、社会が変わる。」というのを目の当たりにして、めちゃくちゃ感動した出来事でした。ヒョウちゃんが自立生活センターをたちあげたら、もっと多くの障害者が外に出られるようになるといいな。

小ネタですが、無駄に冒険心のあるうちの工藤さんと、フリータイムに街を探索しました。ちょっとあっちに行ってみようと、明らかに危険そうな、バイクがひしめき合う直線道路へ・・・(笑)5分ほど怯えながら歩いていると、後ろから、嘘みたいなかい木箱をつんだバイクが向かってきました！！今思い出すとめっちゃウケますが、ほんとすれすれで頭持ってかれるところでした(笑)世界は広い・・・！工藤さんと私はかなりたくましくなって帰国した気がしています。これからもみんなで志を持って、元気に活動していきたいと思います。



しょうがい ふくし かいご ほけん
 ③ 障害福祉・介護保険

りょうしゃすう とうろくすう はけんじかんすう
 1) 利用者数・ヘルパー登録数・派遣時間数

かいじよはけん
 介助派遣

りょうしゃすう 利用者数	にん にかいごほけん へいよう 47人(うち 4人介護保険サービス併用) しんきりょうしゃ めい ※新規利用者 2名
-----------------	--

ヘルパー数	男性 37人(うち社員9人)・女性 60人(うち社員8人) <small>せいべつ じしん しんこく せいべつ</small> ※性別は自身の申告による性別です。	
派遣時間数	重度訪問介護	53,586.5時間
	居宅介護(身体・家事)	2,173.5時間
	移動支援	1,378.0時間
	介護保険	1,960.0時間
	自費(注1)	832.5時間
	IL自費(注2)	24.0時間
	合計	59,954.5時間

(注1)十分な支給決定がされず不足する介助時間、または障害福祉サービスで認められていないけれども障害者の生活にとって必要不可欠とされる事柄について介助派遣を行ったもの。(注2)施設生活のため、移動支援や重度訪問介護の支給決定がされていない人が体験ルーム利用中に使ったヘルパー派遣。

けいかくそうだんしえん
<計画相談支援>

STEPえどがわは、令和4年度5月をもって、計画相談は休止することになりました。利用者さんはすべて、相談支援センターぽこ・あ・ぽこさんに移っていただき、引

き続き支援をしてもらうことになりました。(※令和5年度6月現在、再開の目途は未定です。)

すてっぶ かいじよはけん りよう
<STEPの介助派遣を利用しているみなさんへ>

皆さんには、介助の依頼をしたり、ヘルパーに伝えたいことなど、皆さんとヘルパーの間に入ってくれる介助コーディネーターの担当がいることはご存じかと思ます。実は、自立生活センターであるSTEPえどがわの介助派遣を利用している皆さんには、担当コーディネーター以外に、ジェネ

ラルマネージャー(GM)と呼ばれる当事者スタッフの担当もいます。「GMなんて初めて聞いた！」という方もいらっしゃると思います。STEPえどがわの当事者スタッフも、障害者ジェネラルマネージャーの役割については、利用者さんと担当コーディネーターが困っていたらサポートするくらい

おも
と思っているので、あまり登場する機会が
ないかもしれません(;^_^A。でも、必要な

ひと ふう はい
人には、こんな風にサポートに入っています。

ステップえどがわでは、利用者さんに対し当事者スタッフがサポートをしますが、私自身も
すうめい りようしゃ たんとう ぐたいてき なに りようしゃ にちじょう
数名の利用者さんの担当をしています。具体的に何をするのかというと、利用者さんが日常
せいかつ おく こま ぎもん おも かんけいせい せいど ごと
生活を送るうえで困ったことや疑問に思うこと、ヘルパーさんとの関係性や制度の事など、
さまざま そうだんごと の
様々な相談事に乗ります。

わたしじん
私自身サポートする上で利用者さんがまず自分がどうしたいか、どうすれば実現出来るか
かんが かんが こま はじ
を考えてもらい、それでも困っているときにはアドバイスをするようにしています。初めから
アドバイスすればすぐに解決することがあったとしても、考える力の低下や依存されてしま
うことがないように、適度に距離を置きながらアドバイスをすることを基本スタンスとして行
っています。

もちろん最終的には利用者さん本人に決断をしてもらい、失敗をすることもあるかもしれ
ませんが、それも1つの経験として次に生かせるようにして自立生活を行ってもらえればい
いのかなと思っています。

き なかそねともあき
(記:中曽根知明)

じぶん じえねらるまねーじゃー だれ き かた と あ
自分の G M って誰かな?と気になった方は、お問い合わせください。

りようしゃ しょうかい 2)利用者さん紹介

みねい かずし きそがはじめ
「嶺井 一志さん」(記:曾我元)



こんかい
今回は！
かいじょしゃ ぼく ほう まなぶ おお
介助者として僕の方が学ぶことが多い…
ヘルパーとしてのレベルを上げてくれたか
ずさんをご紹介します。
はじ うかが きげん わる
初めて伺ったときに、機嫌が悪くテレビ
をなげて壁に穴が！母ちゃんと大喧嘩！
た つ ぼく さいしゅうてき
立ち尽くす僕。最終的に「ごめんなさい、お
かあ あやま ぼく
母さま」と謝って、コーヒーを僕に「どう
ぞ！」って元気な声でおもてなしがスター
ト！曾我の心の声
(おいおい！僕もあのテレビのように投げ
飛ばされるんじゃないか？)
はけんしよにち ぶん かくご き ひ
派遣初日の10分で覚悟を決めた日から
もう何年たったかな？

がいしゅつさき いろいろ おし
かずさんに外出先で色々なことを教えて
くれました。

エピソード1

ウィンドーショッピングが好きなかずさん、
ショッピングモール内の天井を指さして
「おお！」って何かを僕に伝えようとしてい
る
そ みね そ
曾「これのこと？」嶺「ちがうね！」曾「あれ
のこと？」嶺「だめだね！」

かずさんもイライラし始めている。その場か
ら一歩も動かなくなっちゃった！やばい！
このままだと投げ飛ばされるかもしれな
い！と思いましたが、父ちゃんにかずは
おんがく す おそ おも だ
音楽が好きだと教わったのを思い出し
そ きよく みね じょうず
曾「この曲●●だよね！」嶺「上手だねー」
い えがお もと ある だ
と言ったら、笑顔に戻り歩き出しました。

せいかい ほうそう きよく
正解は放送でかかっている曲のことで
した。この曲を知っている。好きだ。歌声
がいい。などかずさんのことば こうどう
つにいろんな意味や理由があるということ
をし
を知りました。

エピソード2

人と関わることが好きにならずさん、公園でバーベキューをしているグループがたくさんあるところに通りがかりバーベキューに参加したくなってしまうかずさん。

嶺「いいでしょ！いいでしょ！」曾「いやー…知らない人だしさー」

嶺「やだやだやだやだやだやだー！！」その場で横になってごろごろ転がって怒っているかずさん。

曾「あらー…」砂まみれになっていくかずさんを頭真っ白で見つめる曾我

「どうした！？」と集まる少年少女熟女

「すいません！端っこでいいのでちょっとBBQ参加させてもらって良いですか！？」

と熟女に交渉してOKをもらいかずさんに説明！さすが熟女です。「どこから来たの？」

「かわいい顔しているわね～」と言いながらジュースも食べ物ももらって二人して

落ち着きを取り戻し少しの間参加しました。最後に「お姉さん、美人！ありがとう！」とあいさつをして無事に帰宅できました。

「すいません！端っこでいいのでちょっとBBQ参加させてもらって良いですか！？」

と熟女に交渉してOKをもらいかずさんに説明！さすが熟女です。「どこから来たの？」

「かわいい顔しているわね～」と言いながらジュースも食べ物ももらって二人して落ち着きを取り戻し少しの間参加しました。最後に「お姉さん、美人！ありがとう！」とあいさつをして無事に帰宅できました。

「すいません！端っこでいいのでちょっとBBQ参加させてもらって良いですか！？」

と熟女に交渉してOKをもらいかずさんに説明！さすが熟女です。「どこから来たの？」

たのが嫌で怒らせてしまったのだと反省しました。

たくさんあるグループの中でも、自分に関われそうな興味があるグループを自分で選んで寄って行ったのだと後々気がつききました。

STEPでは「利用者さんと一緒に良いことも悪いことも体験してください」というけど、かずさんとの場合は「ヘルパーと一緒に良いことも悪いことも体験させてください」と感じて曾我は成長させてもらいました。

皆さんにかずさんを知っていただくためにちょっとしたインタビューをしました！

好きな色 赤

好きなこと 人と関わること 外出すること お家でのんびりテレビを見ること

好きな食べ物 オムライス(卵料理が好き)

カレー そば

やりたいこと ヘルパーさんといろんな場所に出かけて好きな場所を見つける

イベントとかであつたら声かけてね

3)ヘルパーさんたちの遊び場

すてっぷ はたら
STEPえどがわで働くのヘルパーさんたちの紹介コーナーです！！素敵なヘルパーさん
すがお しょうかい
たちの素顔をご紹介します！

1.「池戸 夏海さん」



わたし すてっぷ はたら
はじめまして。私はSTEPで働きなが
はいゆうぎょう いけどなつみ
ら俳優業をしています。池戸夏海です。
いぜん はいゆう せんぱい しょうかい じせん
以前は俳優の先輩からの紹介で自薦へ
ルパーをしていたのですが、先に述べた通
はいゆうぎょう へいこう はたら
り俳優業と並行して働かなければならず、
じせん りようしゃ みずか かんり おこな
自薦だと利用者さん自らシフト管理を行
ちようせい むずか たいしよく すてっぷ
うため調整が難しいので退職し、STEP
はたら
で働くことになりました。
めんせつじ へんこう た た
面接時に「シフトの変更が多々あるかも
しれないし 1～2ヶ月単位で休む時がある

つか ころよ う
かもしれない」と伝えたと、快く受け
い はたら
入れてくださり、のびのび働いております。
いま りようしゃ かつどう おうえん
今では利用者さんも活動を応援してくだ
さって、とてもありがたく思います。
えんげき しゅつえん さい くるま かた たいおう
演劇に出演する際、車イスの方の対応
か かくせつていなど
やチケットの価格設定等、ヘルパーをはじ
めから気にするようになりました。障害
も かた つ かんげき
を持った方がヘルパーさんを連れて観劇や
ライブに行く際に、利用者さん自らチケッ
まいぶん か とき
ト2枚分を買ってるのを見た時に、これは
どうにかしなければ、と思ったり。大手の
えいがかん わりびきたいおう
映画館なんかは割引対応がちゃんとあつた
りするんですが、小劇場だとそういった
たいおう い とど
対応がまだまだ行き届いてなかったりしま
す。自分が出演する公演ではそういった
じぶん しゅつえん こうえん
ことが団体伝えて一緒に考えてもらうよ
うにしています。この仕事をしてなかつた
らなかなか気づきにくい事かもしれません。
これから多岐にわたる色々な気づきがあると
おも はいゆう りようほうたの
思います。俳優×ヘルパー、両方楽しんで
やっています！

ようせい けんしゅう
 ④ 養成研修

き なかそねともあき
 (記:中曽根知明)

じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅうおよ かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう
重度訪問介護 従 業 者 養 成 研 修 及 び 喀 痰 吸 引 等 第 三 号 研 修

すてつぷ
 STEPえどがわでは、基本的^{きほんてき}に毎月^{まいつき}研修^{けんしゅう}
 の開催^{かいさい}を予定^{よてい}しており、重度訪問介護従
 業者養成研修^{ぎょうしゃようせいけんしゅう}は、ヘルパーとして働^{はたら}きた
 めの資格^{しかく}であり、喀痰吸引等第三号研修^{かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう}
 は、痰吸引^{たんきゅういん}や経管栄養^{けいかんえいよう}(胃ろう^いなど)を
 必要^{ひつよう}とする方^{かた}へ、サービス^{ていきよう}を提供^{ていきよう}するため
 に必要な資格^{ひつよう しかく}です。

2022年度^{ねんど}は、昨年度^{さくねんど}よりも若干^{じゃっかん}では

ありますが、開催回数^{かいさいかいすう}や受講生^{じゅうこうせい}が増^ふえた
 部分^{ぶぶん}がありますが、コロナ前^{まえ}と比べてまだ
 少^{すく}ない状^{じょうきよう}況^{かう}です。とはいえ増^ふえてきたこ
 とは明^{あか}るい兆^{きざ}しが見^みえてきた感^{かん}じがします。
 2023年度^{ねんど}も感染対策^{かんせんたいさく}を十分^{じゅうぶん}に行^{おこな}ったう
 えで資格講習^{しかくこうしゅう}を開催^{かいさい}し有資格者^{ゆうしかくしゃ}が増^ふえるこ
 とを願^{ねが}いたいです。

じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃようせいけんしゅう
重度訪問介護 従 業 者 養 成 研 修 <2022年4月~2023年3月実績>

じっしかいすう 実施回数	かい 6回	5/7-8、8/4-5、8/18-19、10/20-21、2/2-3、3/13-14
じゅうこうせい 受講生	のべ21人 ^{にん}	

かくたんきゅういんとうだいさんごうけんしゅう
喀痰吸引等第三号研修 <2022年4月~2023年3月実績>

きほんけんしゅう じっしかいすう 基本研修の実施回数	かい 11回	5/5、6/3、6/10、7/23、9/10、10/4、10/11、11/26、2/10、2/24、3/21
じゅうこうせい 受講生	のべ41人 ^{にん}	

03 その他



1) 新入社員紹介

よく考えたら、二人とも、2023年4月からの正社員でした。2022年度はまだ学生ヘルパー…(汗)。でも、もう皆様に紹介したいので、2022年度にSTEPの社員になることを決めてくれた新人紹介～ってことで！皆様どうぞお見知りおきを！（`V`）



はらしま けんたろう
原嶋 健太郎

2023年4月から社員としてお世話になります、原嶋 健太郎です。

大学1年の時(2019年)からヘルパーとして働いていたので、STEP歴は5年目です。大学1年時の講義に曾田さんと、市川さんがお話しに来てくださり、ヘルパー募集の話を知り、STEPへ来ました。働く中で、今村さ

んや土屋さんの活動を見聞きしたり、利用者さんと仲良くなったり、スタッフの方たちの人柄を知ったり、楽しく働いてきました。そして、今村さんたちに誘っていただいたり、曾田さんが訳された『私が人間であるために』を読んで感化されたりして、気づいたら就職することになっていました(笑)。

大学では、作業療法学科で勉強していました。国家試験にも無事(?)合格したので、作業療法士の資格を持っています。「作業療法士」にはどんなイメージをお持ちでしょうか？理学療法士は知っているけど…、リハビリをする人？作業療法士の知名度はそんな感じで高くはなく、何をしたらいいのか知られていないと思います。作業療法士自身も自分達の仕事を明確に説明することが難しかったりするという、不思議な職種なのですが、少しでも作業療法士の説明をさせてください。作業療法士が扱うのは「作業」です。作業というのは、生まれてから

死ぬまでに(正確には死んでからも続いて)
行う全てのことがそれに該当します。例えば、「起きる」「職場に行く」「勉強する」「仕事する」「料理する」「子供の世話をする」「眠る」など、全てです。それらの中で上手いかな
いものがある、それらの配分が不均衡になる、などが起きるとストレスが溜まったり、生きにくくなったりします。それをどうしたら
解消できるのかを、色々な要素から考えて
解決していくお手伝いをするのが作業
療法士です。なので、私たちは基本的にこの「作業」という視点で色々なものを見て考
えています。

その作業療法士がなぜ自立生活センター
で働くのか、病院とか施設で働くのでは？
と疑問を持たれるかもしれません。確かに
日本の作業療法士は多くの場合、病院、
施設で働いていますが、海外では、学校、
一般企業、行政機関など色々な所で作業
療法士の視点を持ちながら働いています。
今後、日本もそうなるかと思っています。
自立生活センターで作業療法士が働いてい
る前例が基本的には無いので、探し探りです
が、自分に何ができるのかを考えながらこ
れからも楽しく、一生懸命働いていこうと
おもいます。よろしくお願ひします。

おかもと りな
岡本 莉奈



改めまして、2023年度から新入社員と
してお世話になります、岡本莉奈と申します。
私は、大学生のころからSTEPでアルバ
イトをしていた経験があるため、顔なじみの
方もいらっしゃるかと思います。その大学で
は、作業療法を学んでいたため、心身や
日常生活のことなど、持っている知識を使
って、何かみなさんのお役に立てればいい
なと考えています。

しかし！みなさん、ここでお気づきになっ
たでしょうか。。。この人、作業療法の資格を
とっておきながら、なぜSTEPに？と。わか
ります。(笑) この質問は、よく聞かれるので
すが、まず第一の理由として、STEPにかか
わっている方は、面白くて、人の気持ちを
丁寧に汲み取ってくれる人たちばかりだな

おも
あと思ったからです。

そして、そんな素敵すてきな人達ひとたちと一緒に働はたらき
たい！世よの中なかをより良い方向ほうこうに変かえていき
たい！と思おもいました。まだまだ未熟者みじゆくもので、世
の中なかを！なんて、大きおおい主語しゅごですが、そのよ

うな気持ちきもを持って日々精進も ひびしょうじんしていきたい
です。はじめのうちは、ご迷惑めいわくおかけするこ
とも多々た たあると思おもいますが、温あたたかい目めとご
指導しどうのほどよろしく願ねがい致いたします。

2)2022会計報告・2022活動報告・2023活動方針

2022年度 活動計算書

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費		
賛助会員受取会費	6,000	6,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	5,724	5,724
3 受取助成金等		
江戸川区社会福祉協議会(福祉事業団体助成金)【1】避難訓練	100,000	
江戸川区社会福祉協議会(バス助成金)【1】避難訓練	250,000	
夢風基金【1】避難訓練	100,000	
江戸川区社会福祉協議会(共同募金)【2】映画上映会	160,000	
職業安定局 人材開発支援	360,000	
高齢障害求職者雇用支援機構(住宅助成金)	1,333,176	
高齢障害求職者雇用支援機構(手話通訳・要約筆記等)	3,000	
重度障害者等通勤対策助成金(駐車場助成金)	132,000	
東京都中小企業障害者雇用支援助成金	645,000	
江戸川区光熱費高騰対策事業支援金	5,000	
		3,088,176
4 事業収益		
自立支援事業		
体験ルーム利用料	68,000	
介助派遣自費利用	281,750	
その他		
		349,750
権利擁護を推進する事業		
イベント収入(参加費、入場料など)	148,800	
講師謝礼収入	603,262	
その他(バスハイクなど)	14,100	
		766,162
総合支援法の障害福祉サービス事業		234,028,807
介護保険法の居宅介護サービス事業		8,733,581
居宅介護従事者養成研修事業		946,000
		244,824,300
5 雑収入		
		0
経常収益計		
		247,924,200
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	142,599,391	
賞与	39,884,114	
通勤交通費	5,173,895	
法定福利費	24,508,302	
福利厚生費	844,852	213,010,554
(2)その他経費		
保守管理	0	
食材	0	
広告宣伝費	0	
運賃	0	
車両借上げ費	0	
印刷外注費	151,052	
印刷外注費【2】上映会	2,162	
印刷外注費【3】バリアフリー演劇	2,443	
会場費	1,470	
会場費【2】上映会	61,836	
会場費【3】バリアフリー演劇	95,406	
会場設営費	0	
会場設営費【2】上映会	70,000	
会場設営費【3】バリアフリー演劇	63,640	
賃借料	1,524,000	
修繕費	0	
事務消耗品費	0	
消耗品費	185,060	
消耗品費【1】避難訓練	3,530	
水道光熱費	107,522	
旅費交通費	11,360	
旅費交通費【1】避難訓練	1,041,740	
旅費交通費【3】バリアフリー演劇	56,040	
支払手数料	0	
諸謝金	102,250	
諸謝金【1】避難訓練	15,000	

諸謝金【2】上映会	10,000			
情報保障費	60,734			
情報保障費【2】上映会	59,350			
支払保険料	38,000			
租税公課				
減価償却費				
接待交際費				
通信費	67,289			
通信費【2】上映会	16,800			
通信費【3】バリアフリー演劇	860			
諸会費				
車両関連費				
新聞図書費				
貸倒引当金繰入				
顧問料				
会議費				
研修費				
リース料				
寄付金				
雑費	109,066			
事業費計		3,856,610		216,867,164
2 管理費				
(1)人件費				
給料手当	8,644,200			
賞与				
通勤交通費	0			
法定福利費	1,125,399			
福利厚生費	0		9,769,599	
(2)その他経費				
保守管理	293,612			
食材				
広告宣伝費	440,000			
運賃	10,945			
車両借上げ費				
印刷外注費	29,525			
会場費				
会場設営費				
賃借料	7,161,658			
修繕費	56,749			
事務消耗品費	35,265			
消耗品費	981,940			
水道光熱費	456,968			
旅費交通費	49,921			
支払手数料	103,650			
諸謝金				
情報保障費				
支払保険料	587,645			
租税公課	36,250			
減価償却費	1,700,706			
接待交際費	128,941			
通信費	1,093,857			
諸会費	1,434,918			
車両関連費				
新聞図書費	19,910			
貸倒引当金繰入				
顧問料	2,758,776			
会議費				
研修費	1,334,436			
リース料	1,530,010			
寄付金	1,000,000			
雑費	493,380			
管理費計		21,739,062		31,508,661
経常費用計				248,375,825
当期経常増減額				-451,625
III 経常外収益				
受取利息	25846			
その他	17320	43,166		
経常外収益計				43,166
IV 経常外費用				
支払利息	0			
その他	0	0		
経常外費用計				0
税引前当期正味財産増減額				-408,459
法人税、住民税及び事業税				0
当期正味財産増減額				-408,459
前期繰越正味財産額				35,970,821
次期繰越正味財産額				35,562,362

書式第16号(法第28条関係)

令和4年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、会社会計規則 によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
対象資産なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金
なし
 - ・ 引当金
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
なし
- (5) 消費税等の会計処理
税込み

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	自立支援	権利擁護	障害福祉	介護保険	養成研修	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						0		
1. 受取会費						0	6,000	6,000
2. 受取寄附金						0	5,724	5,724
3. 受取助成金等		610,000				610,000	2,478,176	3,088,176
4. 事業収益	349,750	764,662	234,028,807	8,733,581	946,000	244,822,800	1,500	244,824,300
経常収益計	349,750	1,374,662	234,028,807	8,733,581	946,000	245,432,800	2,491,400	247,924,200
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	210,707	828,165	140,990,602	0	569,917	142,599,391	8,644,200	133,997,031
賞与	58,933	231,632	39,434,146	0	159,402	39,884,114	0	22,427,955
通勤交通費	7,645	30,048	5,115,524	0	20,678	5,173,895	0	4,239,147
法定福利費	36,214	142,335	24,231,802	0	97,951	24,508,302	1,125,399	24,627,624
福利厚生費	1,248	4,907	835,320	0	3,377	844,852	0	798,819
人件費計	314,747	1,237,087	210,607,395	0	851,325	213,010,554	9,769,599	222,780,153
(2) その他経費								
保守管理						0	293,612	293,612
食材						0	0	0
広告宣伝費						0	440,000	440,000
運賃						0	10,945	10,945
車両借上げ費						0	0	0
印刷外注費	146,520	9,137				155,657	29,525	185,182
会場費		158,712				158,712		158,712
会場設営費		133,640				133,640		133,640
賃借料	1,524,000					1,524,000	7,161,658	8,685,658
修繕費						0	56,749	56,749
事務消耗品費						0	35,265	35,265
消耗品費	60,120	5,928			122,542	188,590	981,940	1,170,530
水道光熱費	107,522					107,522	456,968	564,490
旅費交通費	400	1,108,740				1,109,140	49,921	1,159,061
支払手数料						0	103,650	103,650
諸謝金	62,250	25,000			40,000	127,250		127,250
情報保障費		85,804			34,280	120,084		120,084
支払保険料	38,000					38,000	587,645	625,645
租税公課						0	36,250	36,250
減価償却費						0	1,700,706	1,700,706
接待交際費						0	128,941	128,941

通信費	66,739	17,838		資料2	372	84,949	1,093,857	1,178,806
諸会費						1,434,918	0	1,434,918
車両関連費						0		0
新聞図書費						0	19,910	19,910
貸倒引当金繰入						0		0
顧問料						0	2,758,776	2,758,776
会議費						0		0
研修費						0	1,334,436	1,334,436
リース料						0	1,530,010	1,530,010
寄付金						0	1,000,000	1,000,000
雑費	109,066					109,066	493,380	602,446
法人税等充当額						0	0	0
その他経費計	2,114,617	1,544,799	0	0	197,194	3,856,610	21,739,062	25,595,672
経常費用計	2,429,364	2,781,886	210,607,395	0	1,048,519	216,867,164	31,508,661	248,375,825
その他収益							17,320	
貸倒引当金戻入							25,846	43,166
受取利息								
その他費用								
支払利息							0	0
当期経常増減額	-2,079,614	-1,407,224	23,421,412	8,733,581	-102,519	28,565,636	-28,991,415	-408,459

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
当該 なし		

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。
 当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように用途が特定されています。
 したがって用途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
当該 なし					
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	6,932,709			6,932,709	6,932,708	1
車両運搬具	153,000			153,000	152,999	1
什器備品	3,157,000			3,157,000	3,090,866	66,134
リース資産						
無形固定資産・ソフトウェア						
投資その他の資産						
敷金	1,765,536			1,765,536		
保証金	60,000			60,000		
合計	12,068,245	0	0	12,068,245	10,176,573	66,136

6. 借入金を増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0		0	0
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容
 役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に 計上された 金額	内役員及び 近親者との 取引
(活動計算書)		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- ・ 事業費と管理費の按分方法
 - ・ その他の事業に係る資産の状況

STEPえどがわの活動報告(2022)と活動方針(2023)

りじちよう いまむらのぼる
理事長 今村 登

2022年度活動報告

なが つづ えいきよう すこ お
長らく続いたコロナの影響も少しずつ落
ち着く中、しばらく自粛していた活動の多く
が再開でき、本格的に動ける兆しの見えた
年度となった。コロナ禍で延期していた
集団広域避難訓練は、総勢約60名が1泊2
日で山梨県清里の八ヶ岳コモンズ(元清里
小学校)の体育館に泊ってみるとい
う体験を実施することができ、NHKの同行
取材を受け全国に放送されたり、北杜市の
上村市長の訪問を受けるなど反響も大きか
った。昨年度末に完成したダンサナクセイバ
ーの絵本を区内の図書館及び全69校の
小学校に寄贈したことをきっかけに、3つの
小学校から出前授業の依頼を受け、小学4
年生の総合学習を行なった。さらに、文化庁
の助成事業となった東京演劇集団「風」に
よるバリアフリー演劇「ヘレンケラー」を、
STEPえどがわ、江戸川区相談支援連絡協
議会、一般社団法人オリオンとの3団体によ
る実行委員会を組織してタワーホール船堀
で上演し、ダンサナクセイバーとのコラボ
企画も実現した。こうした不特定多数の人が
集まるイベントが3年ぶりに開催できたこと
は非常に感慨深いものだった。
海外渡航も再開でき、8月に国連の

しょうがいしゃけんりいんかい けんせつてきたいわ たいにち
障害者権利委員会による建設的対話(対日
審査)が行われたスイスのジュネーブに曾田
と工藤が行き(工藤はパリとブリュッセルに
も)、JILのJICA国際協力事業の一環で、
パラグアイ(原嶋、田中)、ベトナム(工藤、
ぬのかわ つちや たなか とう
布川)、カンボジア(土屋、田中)に渡航するこ
とも叶った。これらが他CILや団体との新
たな繋がりのきっかけとなり、STEPとして
も今後の活動に良い影響を与えると考える。

また、さきに書いた避難訓練をはじめとし
たSTEP防災やEMINBOの活動を通じて、
やくしょ たんとうぶしょ かたがた あきかい ぶん
役所の担当部署の方々と会う機会も増え、
こういったことの積み重ねが良い関係の
構築に繋がると期待できる年となった。

こべつしえん ほかだんたい れんけい きょうりよく ひ
個別支援では、他団体との連携、協力、引
き継ぎを経た数年間の支援の結果、2名の
じりつせいかつ じつげん たほう
自立生活を実現することができた。他方、
みと ぶん じりつしえん かた さいこう
看取りを含めた自立支援のあり方を再考す
るきっかけとなる事例が、数多く発生した
ねんど
年度でもあった。

ねん わた か かいぎ
3年に渡るコロナ禍により、会議のオンライ
ン化が定着していく中で、当法人内での
じょうほうほしょう かん じりき
情報保障に関する地力がついてきたことは
よること
喜ばしい。

と く じぎょう
＜取り組みえた事業＞

- こべつそうだん あいえるびー
1.個別相談・ILP
- いりょうてき じしえん
2.医療的ケア児支援
- かいぎ けんしゅう たいおう
3.会議、研修、イベントのオンライン対応
- じょうほうほしょう かくだいじゅうじつ うんようほうほう かくりつ
・情報保障の拡大充実と運用方法の確立
- かくしゅ けんしゅう
・各種のミーティング、ヘルパー研修
- えい がじょうえい せいしんしやうがい む あ
・映画上映(あいー精神障害と向き合っ
て) & トークショー
- たいめんあんど くみ あ
・対面 & オンラインを組合わせたハイブリッ
ド研修を積極的に開催
- えんげきあんどげきだんかぜ
4.バリアフリー演劇 & 劇団風とナクセイバ
ーコラボ作品上演
- みやその おおがた だい かつよう やまなしけんきよさと
5.宮園バス(大型2台)を活用し、山梨県清里
への50人規模での集団広域避難訓練実施
- たいにちしんさ む ところ
6.ジュネーブでの対日審査に向け渡航し、

ねん どうかつどうほうしん
■2023年度活動方針

さくねんどかいさい こうひょう え げきだんかぜ
昨年度開催し好評を得た、劇団風とナク
セイバーのコラボから更なるバージョンアッ
プをし、大阪のC I L 夢宙センター「夢屋」
ともコラボしたナクセイバーショーが山梨県
北杜市で開催される他、昨年度に引き続き
タワーホール船堀にて劇団「風」によるバリ
アフリー演劇「touch」の上演を予定してい
る。誰でも楽しめるように工夫されたバリア
フリー演劇は、インクルーシブ教育や街づく
りにも寄与すると期待する。併せて小学校
への出前授業も引き続き働きかける。

けんりいいん ちよくせつ
権利委員へ直接アピール

- じ るーじやいかくさいききょうりよくじぎょう さんか
7. JIL-JICA国際協力事業への参加(パラ
グアイ、ベトナム、カンボジア)の他、国内
研修
- けんしゅうせい う い
8. ダスキン研修生受け入れ、ゾーさん
- ちゅうがくせい しょくばたいけん
9. 中学生の職場体験チャレンジザ・ドリーム
- えほんはいふ
10. ナクセイバー絵本配付をきっかけとした、
小学校出前授業
- えどがわく かいごほしょう かくりつ かい
11. 江戸川区の介護保障を確立する会の
活動
- えみんぼう えどがわ ほうさい
12. EMINBO(江戸川みんなの防災プロジ
ェクト:みんな助かるみんなで助かる)活動
- あらかわりゅういきぼうさいじゅうみん
13. 荒川流域防災住民ネットワーク
14. えどがわさんしょうがいフォーラム

さら こういきひなんくんれん ぞくへん となり
更に広域避難訓練の続編として、お隣の
いちかわしこうのだい ちばしょうかだいがく きょうりよく
市川市国府台にある千葉商科大学の協
力を得て、大学校舎を借り昨年度より規模を
ひろ ひなんくんれん じっし さくねんどじっし
広げて避難訓練を実施する。昨年度実施の
ひなんくんれん もんだいてん けんしょう けんとう かせ
避難訓練からの問題点を検証し、検討を重
ねた結果、昨年よりは近場でという課題に
たい ひとつ こた え
対する一つの答えにもなり得る。そして、
とうだいがく こうのだい きょうりよく
当大学をはじめとした国府台10の教育
きかん からなる団体との関係が作れる可能性
ひ かいじょじんざい じょうほうほしょう じんざい
も秘め、介助人材、情報保障のテイカー人材
かくほ はつてん かんが
確保などにも発展していくことも考えられ

る。

個別相談では、医療的ケア児の就学に関する支援、江戸川区で新設された修学支援事業の活用に関する支援、就労特別事業の申請、中高齢の中途障害者の自立支援のあり方検討等に取り組む。併せて介助派遣のあり方も検討しながら、介助者及び情報保障のテイクア確保のために、複数の大学等への働きかけを計画的に実行していく。

今年度から江戸川区地域自立支援協議会構成委員に蛭川が入った。今年度の協議会では障害者計画と障害福祉計画の作成が主要課題で、江戸川区が検討している「障害のある人が自分らしく暮らせるまち条例（仮称）」の動向も注視しながら、両計画及び支給決定ガイドラインの見直しを提案していく。

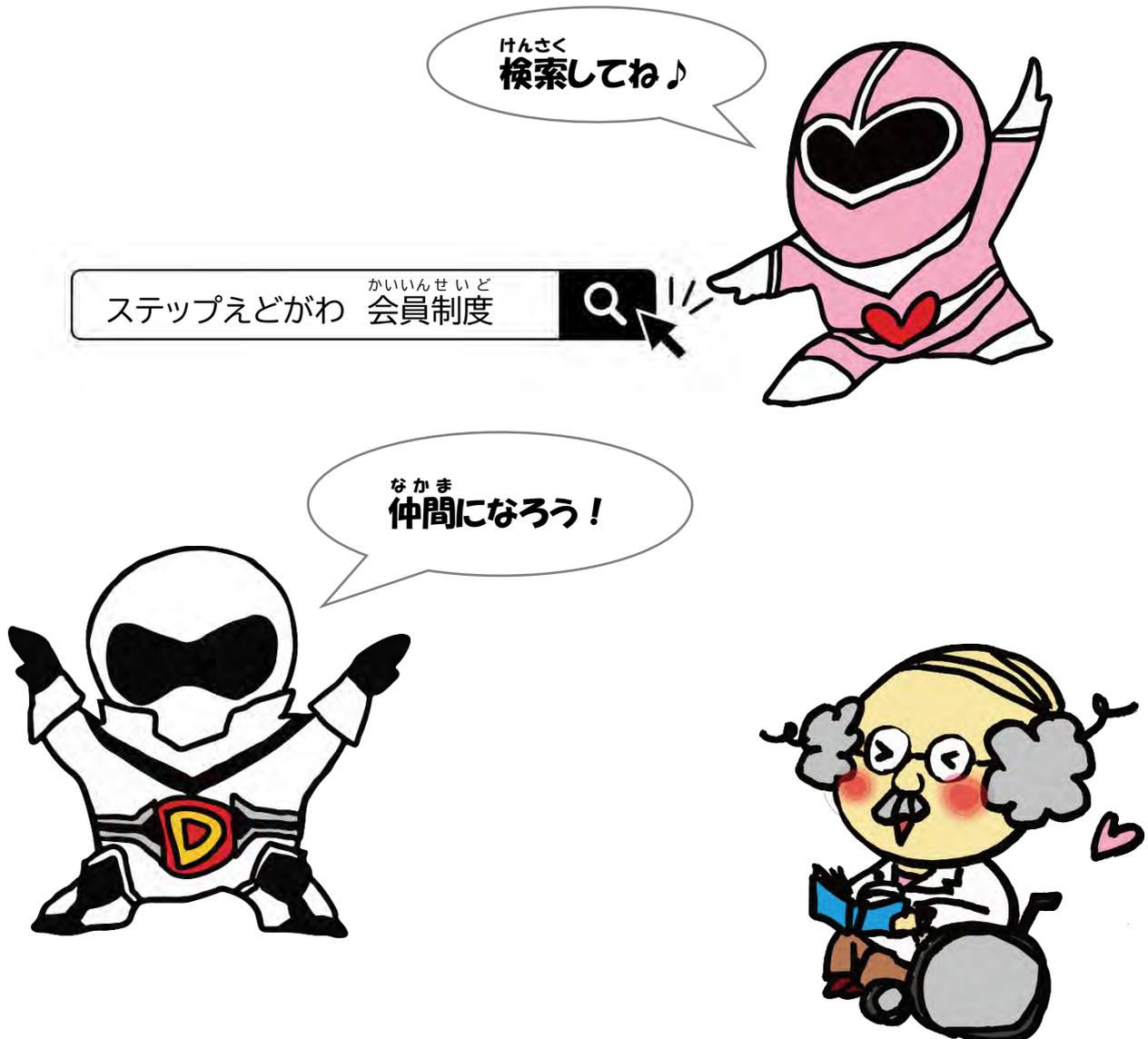
国の動きとしては障害福祉サービスの報酬改定がこの1年で議論されることから、DPI、JILといった全国団体を通じて地域生活に予算配分がシフトしていくよう求めていく。

その他、昨年度に取り組みなかった課題はもちろん、継続事業に対しては更に前に進められるよう意識し積極的に活動していく。

1. 個別支援の継続、ILPの実施
2. STEP防災・EMINBO活動・
3. 千葉商科大学への広域避難訓練
4. 各大学への講義
5. 小学校出前授業
6. 山梨県北杜市での劇団風 & ナクセイバー & 夢屋コラボ上演
7. 第2回江戸川区バリアフリー演劇
8. その他ナクセイバー上演、近隣のイベント参加、映画上映会
9. 江戸川区自立支援協議会関係（傍聴、ヒアリング、パブリックコメント）
10. 2030STEPえどがわビジョンの提示、ロードマップ作成(SEGs)
11. 総括所見を活用した対外事業（脱施設、報酬改定、バリアフリー法関係、基本法、差別解消法関係、条約関係等DPI、JILの活動に関連するもの）

3) 会員制度「ダンスなくし隊」の紹介「隊員募集！」

STEPえどがわでは会員制度をリニューアルし「ダンスなくし隊」としてスタートしました。そのなかで誰もが住みやすい街を目指したMMIプロジェクト「瑞江の街まちを、めちゃめちゃ、インクルーシブな街へ」を行っています。瑞江のお店に段差を解消するためにスロープを置いたり聴覚障害者等とのコミュニケーションを補助する筆談ボードを置かせてもらったりと、誰もがどんな時でも暮らしやすい街づくりを目指した活動です。ここ2年程コロナ禍の影響もあり思うような活動が出来ていませんが、少しずつ通常生活を取り戻してきていますので、STEPえどがわの活動を応援して下さる方を募集しています。





ダンスなくし隊 隊員募集!

みんなでつくろう! 誰も取り残さないインクルーシブな社会
 ~誰もが、行きたいところへ、行きたいときに、行けるまちへ~

選べるサポート形態



マンスリーサポーター



マンスリーサポーターとは、毎月定額を寄付して頂くことで活動をご支援いただく STEP えどがわの新会員制度です。



正会員、賛助会員



毎年定額を寄付して頂くことで、活動をご支援いただく会員制度です。正会員には総会での議決権があり、STEP えどがわの運営等にも積極的な関与をご希望される方が対象です。



ご寄付



ご都合のよい時に、ご自由な金額・回数でご寄付いただけます。いただたご寄付は、誰もが住みやすいインクルーシブなまちづくりに有効に活用させていただきます。

詳しくはSTEPえどがわのホームページをチェックしてください♪

「ダンスなくし隊、隊員募集!!」

<http://www.step-edogawa.com/dansa-nakushitai/>





はっこう
発行

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ すてつぷ
自立生活センターSTEPえどがわ

とうきょうとえどがわくみなみしのざきまち
〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

でんわ ふあつくす
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425

うえぶ
WEB <http://www.step-edogawa.com>

めーる
Mail main@step-edogawa.com

へんしゅう
編集

しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょうしょ
就労継続支援B型事業所

トリコロレ

とうきょうとえどがわくえどがわ かい
〒132-0013 東京都江戸川区江戸川2-33-21 1階

でんわ ふあつくす
TEL 03-6638-9308 FAX 03-6638-9307

うえぶ
WEB <http://www.tricolore-gp.org>

めーる
Mail info@tricolore-gp.org